Pioneer

取扱説明書

AVIC-RLS901シリーズ
AVIC-RWS901シリーズ
AVIC-RZS901シリーズ

お使いになる前に
基本操作
ナビゲーション
オーディオ
スマートループ
ハンズフリー
ドライブレコーダー
ナビスタジオ
お客様登録
地図更新
困ったときは
付録

お買い上げいただきありがとうございます

ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。
本書は紛失しないよう車の中に保管してください。
本機の詳しい取扱・操作方法については、パソコンや携帯電話からもお調べいただけます。
詳しくは、10ページをご覧ください。

お客様登録のお願い

より確実にお客様をサポートさせていただくためにインターネットによるお客様登録を実施しております。インターネットによるご登録の際には、本製品の「機種名」の選択および「製造番号（シリアルNo）」の入力が必要です。あらかじめ製品の保証書をご用意のうえ登録してください。
なお、保証書には「AVIC-****」と「G-****」の2種類の機種名が記載されていますが、「AVIC-****」で始まる機種名を、末尾にあるアルファベット「Z*」の部分まで含めてリストから選択してください。
注：*の部分は機種により異なります。

インターネット利用によるご登録
インターネットに接続して、パソコンから登録を行います。→*「インターネットを利用して登録する」(P61)*

本機の通信機能利用によるご登録
本機の通信機能を利用して、登録を行います。→*「本機の通信機能を使って登録する」(P62)*

バージョンアップ（地図更新）について

パソコンを使って最大5年間バージョンアップデータをダウンロードできます。ハガキ申込みによる無償地図更新用SDカード送付サービスもご利用いただけます。無償期間中（2018年7月～2023年10月末）は何度バージョンアップしても料金はかかりません。
詳しくは、63～67ページをご覧ください。

DVD VIDEO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO　SDXC　VICS WIDE　ATOK

Made for iPhone | iPod　DOLBY DIGITAL　Bluetooth　gracenote A NIELSEN COMPANY

安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
⚠ 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ 注意（警告を含む）しなければならない内容です。	❗ 必ず行っていただく強制の内容です。
🚫 禁止（やってはいけないこと）の内容です。	

接続・取り付け

⚠ 警告

🚫 禁止

本機は、DC12V⊖アース車専用です

24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットは絶対に使用しない

これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

🚫 禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

❗ 強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す

⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

強制

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する
ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない
内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない
落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない
火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない
火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

禁止

分岐配線をしない
ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない
発煙や発火、故障の原因となることがあります。

強制

コードが金属部に触れないように配線する
金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する
雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

⚠ 警告

禁止

運転者は走行中に操作をしない
前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない
バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない
ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない
発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。

分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。

強制

実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

ナビゲーションの設定・調整・確認を行う際にエンジンをかける場合は、パーキングブレーキをかけギアをPレンジまたはニュートラルにする

車が動き出さないようにしてください。

エンジンをかける場合は、排気ガスがこもらないよう、充分な換気を行う

特にガレージなど、閉めきった場所でエンジンをかけたまま長時間の作業を行なうと排気ガスが充満し、非常に危険です。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア）のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

⚠ 注意

禁止

本機は車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となることがあります。

画面モニターを開いた状態でコラムシフトレバーの操作をしない

コラムシフトレバーを握る手が画面モニターに当たって、ケガの原因となることがあります。

強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

指のケガに注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する

ケガの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告

強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口に相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

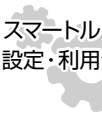
こんな機能が使えます

はじめに

本機をより便利にお使いいただくためには、事前に行っていただきたい設定や登録作業などがあります。

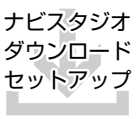
マイセットアップ

▶15ページ



スマートループ
設定・利用登録

▶52ページ



ナビスタジオ
ダウンロード
セットアップ

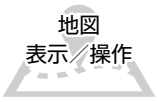
▶59ページ

お客様登録

▶61ページ

ナビゲーション

地図操作、検索、ルート案内、渋滞情報の活用など多彩なナビゲーション機能をお使いいただけます。



地図
表示／操作

▶34ページ

ルート案内
検索

▶37ページ

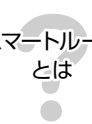
渋滞対応

▶41ページ

スマートループ

他のお客様から寄せられる走行履歴データや画像情報の取得が可能。VICS では配信されていない独自の道路情報が活用できます。

お客様登録が必要 ▶61ページ



スマートループ
とは

▶52ページ

渋滞情報表示

▶54ページ

AV

多彩なメディアに対応。CD を聴くだけでカーナビへの録音も可能です。

その他
AVソース

▶45ページ

ミュージック
サーバー

▶48ページ

Bluetooth
Audio

🕮「Bluetooth Audioを使う」

その他

最新の道路情報を反映できるバージョンアップが可能。各種通信機器の接続やバックアイカメラなどもお使いいただけます。

通信機器
携帯電話

▶11ページ

その他
対応機器

▶14ページ

ナビスタジオ

▶58ページ

バージョンアップ

▶63ページ

▶：本書内の参照ページです。
🕮：WEB版のユーザーズガイドをご覧ください。
ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。

目次

お使いになる前に

はじめに 10

本書の見かた 11

ご使用前に
知っておいていただきたいこと 11
緊急施設の検索やルート案内について 11
地図データについて 11
バッテリー上がりを防ぐために 11
バッテリーを外すときのご注意 11
本機と接続可能な通信機器について 11
パソコンリンクソフトのご案内 12
SD カードについて 12
著作権 12
バージョンアップ（地図更新）
についての注意事項 12
お客様が保存されたデータについて 13
セキュリティロック機能について 13
アフターサービス 13
オートアンテナ車のご注意 13
設定の初期化について 13
初期学習について 13
その他 13

オプション品を使って
本機をより楽しもう 14

マイセットアップをしよう 15
マイセットアップ画面の見かた 15

基本操作

本機の基本操作を覚えよう 16
ナビゲーションの電源について 16
各部の名称と主な働きを覚えよう 16

ステアリングオーディオスイッチの
設定をしてみよう 19
ステアリングオーディオスイッチに
機能を割り当てる 20

テレビを見るための準備をしよう 21
受信可能なチャンネルを本機に登録する
（チャンネルスキャン） 21

自宅を登録しよう 21

携帯電話を登録しよう 22

ディスクやSDカードの
入れかた・取り出しかた 23
ディスクの入れかた 23
ディスクの取り出しかた 23
SDカードの入れかた 23
SDカードの取り外しかた 24

画面を見やすく調整してみよう 25
モニターの角度を調整する 25
画質を調整する 25

地図画面とAVソース画面を
同時に表示してみよう 25

ナビゲーションの音量を
調整してみよう 26

カスタムキーの操作を覚えよう 26
カスタム機能を設定する 26
カスタム機能を使う 26

現在地を登録してみよう 27

登録した場所を編集してみよう 27

メニューの操作を覚えよう 28
セントラルメニュー 30
ショートカットメニューの操作 32

リスト画面の操作を覚えよう 32
基本的なリストの操作 32
その他のリスト操作 33

ナビゲーション

地図の見かたや操作を覚えよう 34
現在地画面の見かた 34
昼間と夜間の色の違いについて 34
画面下部に表示されるアイコンについて 34
地図を動かす 35
地図のスケールを変える 36
地図の向きを変える 36
地図の表示方法を変える 37

目的地を探してルート案内してみよう 37
ルート案内中画面の見かた 39
ルート案内中の主な機能 40
ルート案内中の主な操作 40

ナビゲーションの機能設定をしてみよう 42
機能設定の設定項目一覧 42

オーディオ

音楽や映像を楽しもう 45
AVソースを切り換える 45
AVソースをOFFにする 45
AVソースを操作する 45
ソース別設定を行う 46
USBメモリー／iPhone／iPodの接続方法 47
VTRなどの外部映像機器（AUX）の接続方法 47
録音機能（ミュージックサーバー）について 48

オーディオ設定をしてみよう 49
オーディオ設定の詳細設定項目一覧 49

再生できるファイルとメディアの種類 ...50
音声コーデックについて ...50
映像コーデックについて ...51
音声コーデックと映像コーデックの組み合わせについて ...51

スマートループ

スマートループを利用してみよう ...52
スマートループ渋滞情報を利用するために必要なこと ...52
通信機器を準備する ...52
スマートループ設定をする ...52
スマートループ渋滞情報の取得のしかた ...54
スマートループ渋滞情報取得画面の見かた ...54

ハンズフリー

ハンズフリー通話をしてみよう ...55
電話のかけかた ...55
電話の受けかた ...55
ハンズフリー通話の受話音量について ...55

ドライブレコーダー

ドライブレコーダーを使ってみよう ...56
ドライブレコーダーリンク機能について ...56
ドライブレコーダーリンク機能を設定をする ...56
ドライブレコーダーの映像を表示する ...56
接続状態を確認する ...57
メッセージ表示について ...57

ナビスタジオ

ナビスタジオを使ってみよう ...58
動作環境について ...58
ナビスタジオのダウンロード・セットアップについて ...59
SDカードを本機に登録する ...59
ナビスタジオを使ってできること ...59

お客様登録

お客様登録（無料）をしよう ...61
インターネットを利用して登録する ...61
本機の通信機能を使って登録する ...62

地図更新

バージョンアップ（地図更新）をしてみよう ...63
地図更新の流れ ...63
更新方法の途中変更について ...63
Ⓐ 地図更新用SDカード送付サービスを申し込む ...64
Ⓑ ナビスタジオで地図データをダウンロードする ...65
バージョンアップする ...65
地図更新に関する注意事項 ...66
個人情報のお取り扱いについて ...66
地図更新後に初期化される内容 ...66
こんなときは ...67

困ったときは

故障かな？と思ったら ...68
共通項目 ...68
オーディオ共通項目 ...69
FM/AM ...69
DVD ...69
CD、ROM（WMA/MP3/AAC） ...70
音楽CDの録音・MSV ...70
地上デジタルテレビ／ワンセグテレビ ...71
SD/USB ...71
iPod ...72
Bluetooth Audio ...72
Bluetooth ...72
エラーメッセージと対処方法 ...73
走行開始後 ...73
共通項目 ...73
ナビゲーション ...73
渋滞情報 ...74
通信 ...74
Bluetooth ...74
SDカード ...74
USB ...75
携帯電話 ...75
音楽ディスク ...75
映像ディスク ...75
音楽CDの録音・MSV ...76
iPod ...76
地上デジタルテレビ／ワンセグテレビ ...76
Bluetooth Audio ...77
SD/USB ...77
その他 ...77

付録

NaviConを使ってみよう ...78
バッテリー端子を外した場合の再設定について ...79
AUX設定のしかた ...79
取り扱い上のご注意 ...80
電波に関するご注意 ...82
保証書とアフターサービス ...83
仕様 ...83
VICS情報有料放送サービス契約約款 ...85
Gracenote®について ...86
商標・著作権など ...87
索引 ...92
記号・マーク一覧 ...95

はじめに

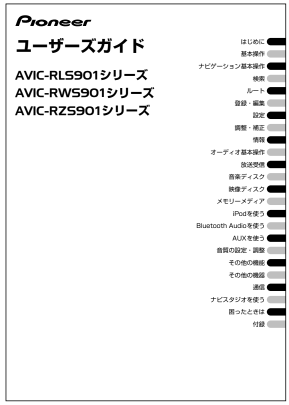
弊社は環境保護の観点から紙資源の使用量を見直し、本製品の取り扱い情報をいくつかの媒体を介して、お客様に提供しています。

取扱説明書（本書）

製品に同梱されている説明書です。
本機を使い始める前に、必ずお読みください。
本機をご購入後、実際に使い始める前に知っておいていただきたいことや、ナビゲーション、オーディオなどの基本的な使いかたを説明しています。また、パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」や本機と組み合わせ可能なオプション品の紹介、困ったときの対処方法なども説明しています。

ユーザーズガイド

ユーザーズガイドでは、ナビゲーション、オーディオの使いかたや各種設定について説明しています。
コンピューター、iPhoneやスマートフォンを使って、PDF形式で閲覧・ダウンロードすることができます。インターネットに接続可能な環境で、下記URLを入力してアクセスしてください。
＜ http://pioneer.jp/support/dop/ ＞
ユーザーズガイド閲覧時の通信料は、お客様のご負担となります。また、掲載内容は、予告なく変更される場合があります。



本書の見かた

表記	意味
❗	注意マーク 操作上、注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
📝	メモ 操作する上でのヒントや便利な使いかたなどについて説明しています。
戻る	タッチキーを表します。 例：戻るにタッチする
メニュー	ナビゲーション本体のボタンを表します。 例：メニューを押す
→*斜体*	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→*「場所を探す」*
長く押す/長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す(タッチする)ことを示します。
押し続ける/タッチし続ける	押している(タッチしている)間だけ操作することを示します。

メモ

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
- 本書では、iPod、iPhone、iPadを有線で接続して使用する場合を総称して「iPod」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では、「NAVI＊STUDIO（楽ナビ/EVナビ用）Ver.3.2」を「ナビスタジオ」と表記しています。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

緊急施設の検索やルート案内について

病院、消防署、警察署など、緊急施設の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。

地図データについて

本機のご使用に当たっては、地図ディスクは必要ありません。地図データは、本機内蔵のメモリーに収録されています。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

メモ

- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリーを外すときのご注意

セキュリティロックが有効状態の場合、点検などでバッテリーを外すと、次回起動時にパスワードの入力が必要です。また、以下の内容が工場出荷時の設定に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

自車方位／画質調整／画面角度調整／オーディオ設定の内容／ラジオ、交通情報のプリセット内容／各AVソースの再生モード など

本機と接続可能な通信機器について

本機に接続可能な通信機器は、Bluetooth®に対応した携帯電話です。

携帯電話を本機にBluetooth接続することで、電話機能や通信機能、Bluetooth Audio機能（Bluetooth Audio対応携帯電話の場合）などが使えます。ただし、携帯電話やiPhone/スマートフォンの機種によっては、それらに対応していない機種もありますので、ご注意ください。また、別売の携帯電話接続ケーブルを使っての接続には対応しておりませんのでご注意ください。

携帯電話接続情報については、以下のサイトから確認できます。

http://pioneer.jp/support/dop/

パソコンリンクソフトのご案内

パソコンリンクソフト「NAVI＊STUDIO」(以降ナビスタジオ)をパソコンにインストールしてお使いいただくと、最新の地図やスマートループ渋滞情報、ウェザーライブなどのデータをネットワーク経由で取得することができます。保存されたデータや情報は、SDカードを本機に挿入して反映させることができます。ナビスタジオのご利用に関して、詳しくは*「ナビスタジオを使ってみよう」(→P58)*をご覧ください。

SD カードについて

- 本機は、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードに対応しています。
- ナビスタジオ(→*P58*)を使った全データ更新には、16 GB以上のSDカードが必要です。お使いいただいているパソコンがSDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードに対応していない場合には、SDHCカードおよびSDXCメモリーカードに対応したカードリーダー/ライターなどをご使用ください。
- 音楽CDを録音するためには、256 MB以上のSDカードが必要です。また、音楽CD の録音・マイミックスを利用するためには、30 MB以上の残容量が必要です。
- プローブ情報やナビスタジオの編集データの保存のためには、256 MB以上のSDカードが必要です。
- 本機はすべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- SDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SDカードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをするとSD規格非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。ただし、フォーマットした場合は、SDカードに記録されたデータがすべて消失します。フォーマットの際は、必ずSDカードデータのバックアップを作成してから行ってください。

  SDカードのフォーマットソフトウェアは、SDアソシエーションの以下ホームページより入手できます。

  https://www.sdcard.org/jp/home.html
- フォーマット作業によるSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、SDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任の元でフォーマット作業は実行してください。
- 音楽CDを録音すると、SDカードに「NAVIRECDATA2」という録音した音楽データ用のフォルダーが作られます。このフォルダーの内容は変更しないでください。このフォルダーの中にファイルを保存すると、本機で録音データの全消去を行ったときに削除されるため注意してください。また、SDカードの中に「NAVIRECDATA2」という名前のフォルダーは作らないでください。

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

バージョンアップ(地図更新)についての注意事項

- 本機は無償バージョンアップ最大5年分付き(2018年7月～2023年10月末)です。無償期間中は何度バージョンアップしても料金はかかりません。2023年11月以降のバージョンアップは有償となり、無償の更新用データの配信は終了します。
- マップチャージには、全データ更新(アプリケーション、地図データ、道路データ、地点情報データなど含めたすべてのデータ)と、地点情報データのみの更新、道路データのみの更新の3種類があります。

  全データ更新は年2回、地点情報データの更新および道路データの更新は毎月を予定しています。(整備スケジュールの都合上、更新対象がない月もあります。)
- マップチャージの流れなど、詳しくは*P63*をご覧ください。
- 全データ更新をする際は、16 GB以上のSDカード(8 GB・2枚でも可)が必要です。
- インターネット接続環境をご利用になれないお客様は、ハガキ申込みによるバージョンアップ用SDカードの送付サービスをご利用いただけます。

● バージョンアップのお知らせについては登録時に「新製品などに関するご案内」に同意いただいた方にのみEメールにてご案内させていただく予定です。

お客様が保存されたデータについて

● 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。

● 本機の地図データ更新および修理において、お客様の登録されたデータの保証については、ご容赦ください。

● お客様が録音された音楽情報（SDカード内に生成される録音データ）は、パソコンにバックアップできます。

● ナビゲーションに登録されたメモリダイヤル・各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

セキュリティロック機能について

本機は、パスワードによるセキュリティロック機能（盗難抑止機能）を内蔵しています。出荷時は、セキュリティロック機能は動作しておりません。必要に応じてセキュリティロック機能を設定してください。設定には、通信機器の接続と設定が必要です。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*

アフターサービス

弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録（→*P61*）をしていただいたお客様にいたします。必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

オートアンテナ車のご注意

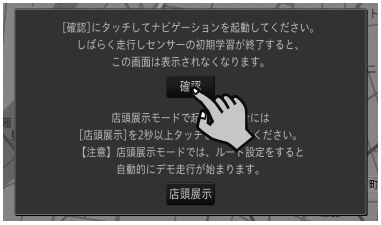
本機をオートアンテナ車（モーターアンテナ車）に取り付けた場合、エンジンスイッチのON（本機の電源ON）に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

設定の初期化について

ご購入後に設定した内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。
設定の初期化について、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。*（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*

初期学習について

センサー初期学習とは、センサーを利用可能にするために車や取付状態に合わせて学習を開始している状態のことです。センサーが利用可能になると、初期学習は終了します。初期学習中にエンジンをかけると以下の画面が表示されますので、確認 にタッチしてください。 店頭展示 にはタッチしないでください。タッチしてしまった場合は、車のエンジンをかけ直してください。
センサー学習について、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。*（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*



その他

● 著作権で保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権を保護するための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニターに出力した場合には、再生する時も画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とリアモニターを直接接続してお楽しみください。

● 製品の性能改善などを目的として、本機には動作履歴情報（測位結果など）を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報は含まれません。また、この情報は当社指定の拠点および当社指定の業務委託先でのみ解析ができるしくみになっており、お客様の同意をいただけた場合に限り使用いたします。

● 弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。

● 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

オプション品を使って本機をより楽しもう

本機には、下記のオプション類が組み合わせできます。
接続する各機器の説明書をよくお読みください。

メモ

- 下記の型番は代表例です。車種や条件によって組み合わせできない場合もあります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

メーカーオプション

■ヘッドアップディスプレイ

本機のルート案内情報が、ヘッドアップディスプレイに表示されます。

■全方位モニター

4つのカメラで自車を真上から見ているような映像を本機に表示し、周囲を確認することができます。

ディーラーオプション

■ETCユニット

別売のETCユニットを接続すると、ETCカードの有効期限について音声でアナウンスしたり、ETCカードに記録されている利用履歴、ETCユニットの車載器管理番号を本機の画面で確認することができます。

メモ

- ナビゲーションとETC車載器をETC/ナビゲーション接続ケーブルで接続した場合、ETCゲート入り口での音声・ビープ音による案内ができなくなります。

■ETC2.0ユニット

別売のETC2.0ユニットを接続すると、上記ETC機能に加えて、渋滞回避、安全運転支援等の情報提供サービスを利用することができます。また、ITSスポットを通して収集される経路情報を活用した新たなサービスを導入する予定です。

※ 本機はETC2.0サービスのすべてのサービスのご利用を保証するものではありません。

メモ

- ナビゲーションとETC車載器をETC/ナビゲーション接続ケーブルで接続した場合、ETCゲート入り口での音声・ビープ音による案内ができなくなります。

■各種接続ケーブル

別売の各種接続ケーブルを使用すると、本機にVTRなどの外部映像機器を接続できます。

メモ

- 外部映像機器とドライブレコーダーの同時接続はできません。

■リアモニター

別売のリアモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。
リアモニターに表示される映像は次の通りです。
○：表示します　×：表示しません

DTV	○
DVD	○
iPod ビデオ	○
MSV/SD の映像ファイル	×
AUX	○
ナビゲーション	×
カメラ映像	×
AV ソース画面	×

注意

- リアモニターには走行中/停車中に関係なく映像が表示されるため、走行中に運転者が映像を見ることができない位置に設置してください。

■セレクトビューバックアイカメラ/バックアイカメラ

別売のセレクトビューバックアイカメラまたはバックアイカメラを接続すると、駐車時に後方の映像を本機に表示させることができます。

■フロントサイドビューカメラ

セレクトビューバックアイカメラにフロントサイドビューカメラを追加すると、T字路や見通しの悪い交差点の映像を本機に表示させることができます。

メモ

- フロントサイドビューカメラ単体でのご使用はできません。

■ドライブレコーダー

別売のドライブレコーダー「99000-79BM8-000（ND-DVR1347ZS）」を接続すると、本機を通して映像やメッセージの確認、およびドライブレコーダーの操作を行うことができます。

メモ

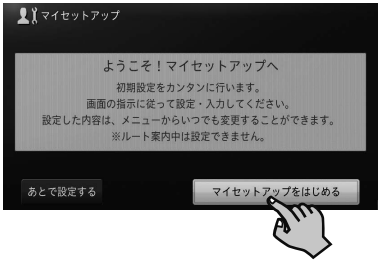
- 外部映像機器とドライブレコーダーの同時接続はできません。

マイセットアップをしよう

本機の基本的な設定を、画面の指示に従ってかんたんに行うことができます。

本機をご購入後、はじめてお使いになるときは、自動的にマイセットアップが起動します。

1 マイセットアップをはじめるにタッチする



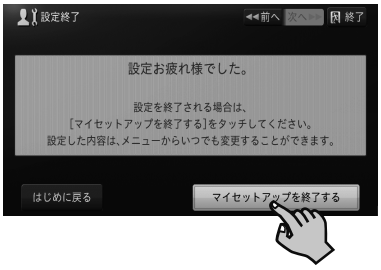
▼

次の順に設定を行います。
音量設定 → 自宅設定 → 燃費推定（電力消費率推定※）/車両情報 → リモコン設定 → ETC/ETC2.0取付状態設定 → Bluetooth設定 → プローブ情報送信設定 → スマートループお試し登録
それぞれの画面の指示に従って設定してください。
※EVモード設定がONの場合

メモ

- ルート案内中は、設定できません。
- あとで設定したい場合は、あとで設定するにタッチしてください。次回起動時もマイセットアップが起動します。
- マイセットアップは、設定・編集メニュー（→*P31*）からも行えます。

2 マイセットアップ終了画面まで進んだら、マイセットアップを終了するにタッチする



マイセットアップ画面の見かた

終了
マイセットアップを終了します。

次へ ▶▶
設定内容を保存し、次の画面を表示します。

◀◀ 前へ
設定をやり直す場合など、一つ前の画面を表示します。

ガイダンスメッセージ
機能の概要と操作方法をかんたんなメッセージで表示します。

マイセットアップ進捗バー
マイセットアップがどこまで進んでいるか確認できます。

本機の基本操作を覚えよう

ナビゲーションの電源について

本機の電源は、車のエンジンスイッチをONにすると自動的に入り、エンジンスイッチをOFFにすると切れます。ナビゲーションの電源スイッチはありません。

注意

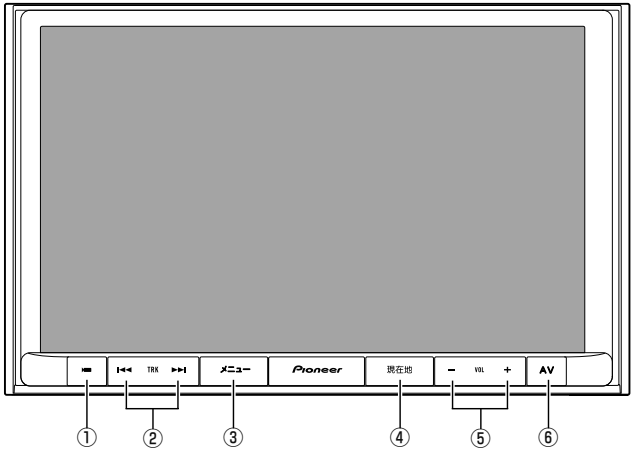
- 本機は、エンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にするとモニターが自動的に閉じます。ただし、モニターが完全に開いた状態でエンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にしても、自動的にモニターが閉じることはありません。故障ではありません。

各部の名称と主な働きを覚えよう

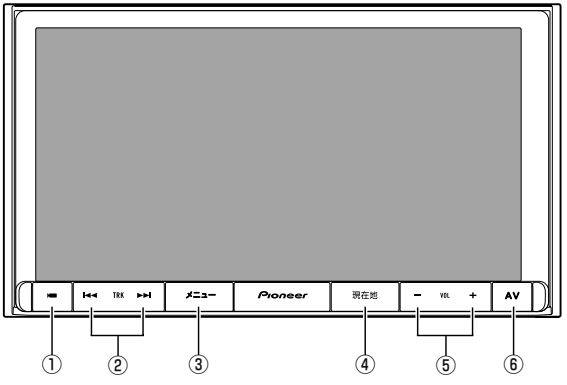
ナビゲーション本体、マイク、ステアリングオーディオスイッチ（装備車のみ）の各部の名称と働きを説明します。

■ ナビゲーション

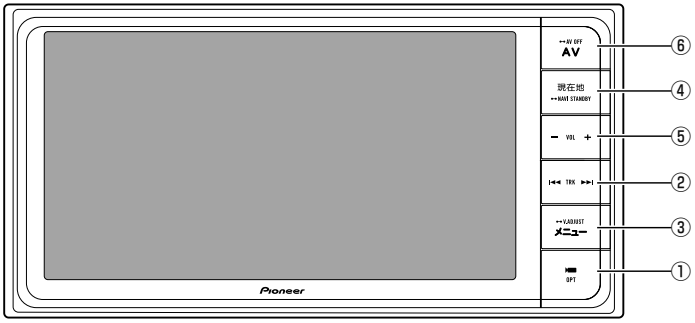
閉じている状態



AVIC-RLS901シリーズ

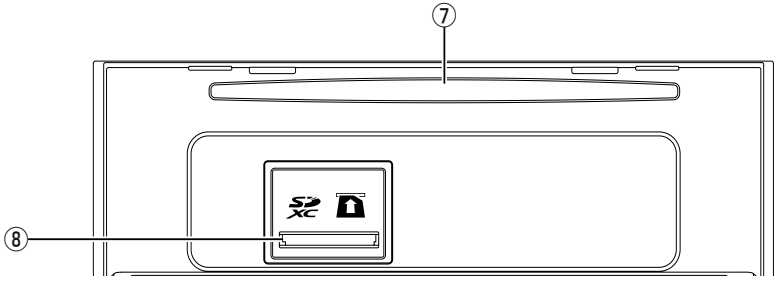


AVIC-RZS901シリーズ



AVIC-RWS901シリーズ

開いている状態



① **(▬) ボタン**
接続されているカメラの映像を表示します。
カメラによっては、押すごとに視点を切り換えることもできます。

② **(⏮)(⏭) ボタン**
放送局の選択や再生する曲の選択をします。
長く押すと、曲の早戻しや早送りをします。

③ **(メニュー) ボタン(→*P28*)**
セントラルメニューを表示します。セントラルメニュー表示中は、NAVIメニューとAVメニューを切り換えます。
長く押すと画面の画質を調整します。

④ **(現在地) ボタン**
ナビゲーションの現在地表示に切り換えます。
長く押すと画面を一時的に消し、待機状態にします(ナビスタンバイ)。

⑤ **(−)(+) (音量調整) ボタン**
車のスピーカーから出力されるAVソースの音量を調整できます。

⑥ **(AV) ボタン**
AVソース画面時は、セントラルメニューを表示します。(長く押すとAVソースをOFFにしてセントラルメニューを表示します。)
ナビゲーション画面時は、AVソースがOFFの場合はセントラルメニューを表示し、AVソースがONの場合はAVソース画面を表示します。

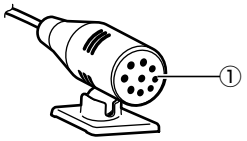
⑦ **ディスク挿入口(→*P23*)**
DVDやCDなどを挿入します。

⑧ **SDカードスロット(→*P23*)**
SDカードを挿入します。

メモ

- ナビスタンバイ中の画面にタッチすると、元の画面に戻ります。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。
- ナビゲーションの案内音声、操作音、電話の受話音および着信音の調整は、*「ナビゲーションの音量を調整してみよう」(→P26)*で行います。

■ ハンズフリー通話用マイク



① **集音部**
ハンズフリー通話をするときは、集音部に向かって話します。

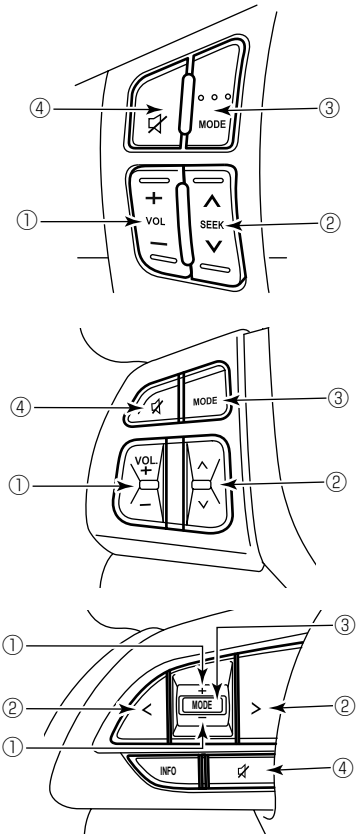
■ ステアリングオーディオスイッチ

本機能は、ステアリングオーディオスイッチ装着車で使用できます。
ステアリングオーディオスイッチにはお好みの機能を割り当てることもできます。→*P20の「ステアリングオーディオスイッチに機能を割り当てる」*

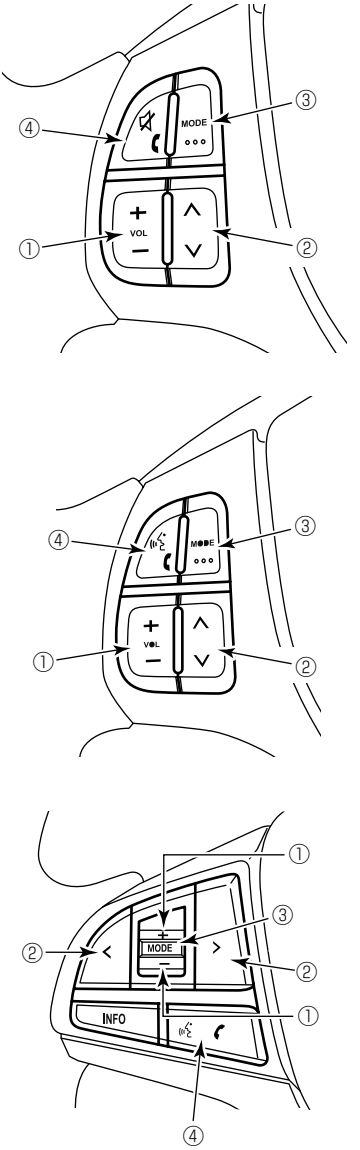
❗警告

- 走行中、運転の妨げにならないように十分注意してください。

タイプA



タイプB



① **音量調節スイッチ**
オーディオ音量を調整します。
スイッチを長押しすることで、連続調整もできます。
＋：音量を大きくします。
－：音量を小さくします。

② **∧ / ∨または＜ / ＞スイッチ**

FM/AM/DTV
短押し：プリセットチャンネルのアップ/ダウン
長押し：自動選局（シーク選曲）

DVD/MSV/SD
短押し：トラック/チャプターのアップ/ダウン
長押し：タイトル/プレイリストのアップ/ダウン

CD/iPod/USB/Bluetooth Audio
短押し：トラック/曲のアップ/ダウン
長押し：早送り/早戻し

交通情報
短押し：1 620 kHz/1 629 kHzの切り替え
長押し：ー

メモ

- ステアリングオーディオスイッチの「∧ / ∨」または「＜ / ＞」スイッチの動作は、本体ボタン「(I◀◀) (▶▶I)」と同じ動作を行います。

③ **MODE スイッチ（AV ソース切り替え）**
短押し：AVソースメニューに表示されているソースを順次選択
DISC → MSV/SD → FM → AM → DTV → Bluetooth Audio → iPod → USB → AUX → ・・・・
長押し：AV OFF

メモ

- 機器を接続していないソースや、再生の準備、設定がされていないソースはスキップされます。
- 交通情報への切り替えは行われません。

④ **MUTE スイッチ（消音）またはH/F（ハンズフリー）スイッチ（ONフック/OFFフック）**
MUTE スイッチを選択した場合
押すとオーディオの音声を消音します。再度押すと元の音量に戻ります。
H/F スイッチを選択した場合
着信中に押すと、電話を取ることができます。
通話中に押すと、電話を切ることができます。
電話番号の入力がされた状態などに押すと、電話を発信できます。

メモ

- タイプBの④のスイッチは、リモコン設定によりMUTEまたはH/Fのいずれかの機能を選択することができます。
- H/Fスイッチの操作による電話の発信は、Bluetoothオーディオの使用中や、電話回線に接続中にはできません。

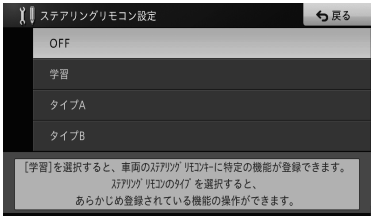
ステアリングオーディオスイッチの設定をしてみよう

1 (メニュー) を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **システム設定** にタッチする

3 **リモコン設定** にタッチする

4 車両のステアリングオーディオスイッチのタイプをリストから選んでタッチする



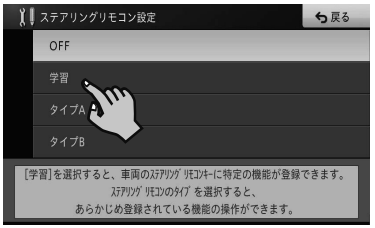
OFF	ステアリングオーディオスイッチが装備されていない場合に選択してください。
学習	あらかじめ登録されている機能以外の操作を設定したい場合に選択してください。学習の方法については次項の「ステアリングオーディオスイッチに機能を割り当てる」をご覧ください。

タイプA	タイプAのステアリングオーディオスイッチが装備されている場合に選択してください。 タイプBのステアリングオーディオスイッチが装備されているが、MUTEスイッチとして使用したい場合はこちらを選択してください。
タイプB	タイプBのステアリングオーディオスイッチが装備されており、H/Fスイッチとして使用したい場合に選択してください。

ステアリングオーディオスイッチに機能を割り当てる

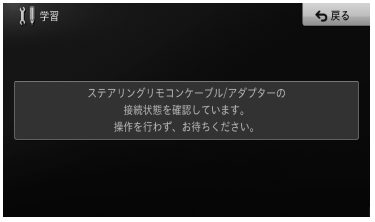
ステアリングオーディオスイッチにお好みの機能を割り当てられます。

1 前項の手順4で 学習 にタッチする



2 機能登録 にタッチする

▼



3 確認 にタッチする

4 ステアリングオーディオスイッチに割り当てたい機能を選んでタッチする

ステアリングオーディオスイッチには以下の機能を割り当てられます。

- ソース
- AVソースの音量アップ
- AVソースの音量ダウン
- トラックアップ
- トラックダウン
- アッテネーター
- ミュート
- 通話開始
- 通話終了
- 広域
- 詳細
- AV/地図画面の切り換え
- カスタム

5 機能を割り当てるステアリングオーディオスイッチのスイッチを2秒以上押す

▼

ステアリングオーディオスイッチに機能が割り付けられます。

テレビを見るための準備をしよう

本機をご購入後、はじめてテレビをご覧になるときは、受信可能なチャンネルを探して本機に登録する作業（チャンネルスキャン）が必要です。この準備が完了するまで、テレビはご覧になれません。

受信可能なチャンネルを本機に登録する（チャンネルスキャン）

メモ

- チャンネルスキャンは、テレビの電波を受信しやすい場所で行ってください。（地下駐車場などでは電波を受信しない場合があります。）
- 設定初期化したときにもチャンネルスキャンが必要です。

1 メニューを押し、←AVにタッチする

2 DTV にタッチする

3 次ページ－スキャンに2秒以上タッチする

▼

チャンネルスキャンを開始します。

▼

チャンネルスキャンが終了すると、テレビの映像が表示されます。

自宅を登録しよう

あらかじめ自宅の場所を登録しておくと、ドライブ先から自宅へ帰るときなどに、かんたんな操作でルートを探索できます。

1 自宅に車を停める

2 メニューを押し、自宅にタッチする

3 はいにタッチする

▼

自宅が登録されます。

メモ

- マイセットアップ（→*P15*）でも登録できます。
- 引っ越しなどの理由で自宅を再登録したい場合は、登録済みの自宅を削除してから操作してください。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*
- 地図画面上で自車マーク▲が自宅の位置にあることを確認してください。ずれているときは、画面をスクロールして十字カーソルを自宅の位置に合わせてください。→*P35の「地図を動かす」*
- 登録後に自宅にタッチすると、自宅までのルート探索が始まります。

携帯電話を登録しよう

通信機能やハンズフリー通話をご利用になるには、あらかじめ本機に携帯電話を登録してください。操作を行う前に、携帯電話のBluetooth機能をONにしてください。

メモ

- 携帯電話に関する操作方法は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth 対応の携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限が発生する場合があります。*「本機と接続可能な通信機器について」*（→P11）をご覧になり、事前に確認してください。

1 (メニュー)を押し、設定・編集－システム設定－Bluetooth設定にタッチする

2 機器登録にタッチする

▼

周辺のBluetooth機器を検索してリスト表示します。

メモ

- 検索は約20秒間行われます。検索を開始して20秒経過後にBluetooth機能をON にした機器などがある場合は、再検索にタッチすると検索し直します。
- お使いの携帯電話によっては、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、相手機器から登録するにタッチして、Bluetooth機器の登録メニューから登録してください。

3 登録するBluetooth機器にタッチする

4 本機またはBluetooth機器を操作してペアリングを行う

メモ

- Bluetooth機器を最初に登録する際は、接続相手を特定するため、ペアリング操作が必要です。ペアリング方法はお使いのBluetooth機器によって異なります。本機またはBluetooth機器の画面表示に従ってペアリングしてください。
- Bluetooth機器に本機を登録（機器登録･機器認証）する方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、ハンズフリー通話、パーソナルエリアネットワークユーザー (PAN-U)、ダイヤルアップネットワーク（DUN）、メモリダイヤル読み込み※、Bluetooth AUDIO、NaviConに対応しています。
※お使いのBluetooth機器によっては、各機能に対応していない場合があります。

▼

登録完了のメッセージが表示されます。

以上で、携帯電話の登録は完了です。
登録した携帯電話がBluetoothのダイヤルアップネットワーク（DUN）やパーソナルエリアネットワーク（PAN）に対応している場合、引き続きプロバイダ設定の確認画面が表示されます。携帯電話を使って本機の通信機能をご利用いただく場合は、プロバイダ設定を行ってください。

注意

- auの端末を使用した場合、ハンズフリー通話中はPANによるデータ通信は中断されます。

ディスクやSDカードの入れかた・取り出しかた

⚠ 指のケガに注意

- モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

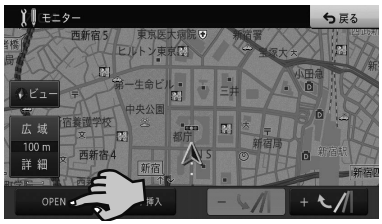
❗注意

- 8 cm ディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した8 cm ディスクも絶対に使用しないでください。
- SDカードの出し入れを無理に行うと、本機やSDカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SDカードスロットには、SDカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全のため、走行中はSDカードの出し入れはしないでください。
- SDカードの出し入れの際、モニターを完全に開いた状態のままにしておくと、一定の間隔で音声警告が行われます。表示部保護のため、必要な場合以外モニターは閉じた状態でご使用ください。
- 本機を使用していないときは、モニターを閉じた状態にしてください。

ディスクの入れかた

1 (メニュー)を押し、EJECT/TILTにタッチする

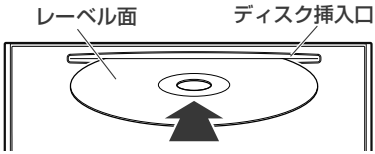
2 OPEN にタッチする



▼

モニターが開きます。

2 ディスク挿入口にディスクを差し込む



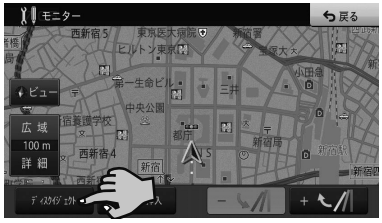
▼

ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、モニターが閉じます。

ディスクの取り出しかた

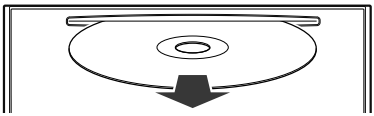
1 (メニュー)を押し、EJECT/TILTにタッチする

2 ディスクイジェクトにタッチする



▼

モニターが開き、ディスクが自動的に押し出されます。



3 ディスクを取り出し、CLOSEにタッチする

▼

モニターが閉じます。

SD カードの入れかた

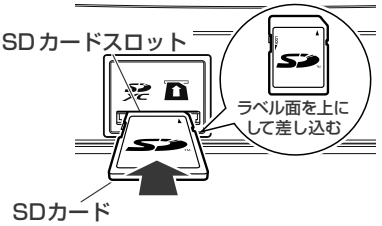
1 (メニュー)を押し、EJECT/TILTにタッチする

2 SDカード挿入にタッチする

▼

モニターが開きます。

3 “カチッ”と音がするまでSDカードを差し込む



4 CLOSEにタッチする

▼

モニターが閉じます。

注意

- SDカードが完全に挿入されていない状態でCLOSEにタッチしないでください。カードを破損させる恐れがあります（SDカードの挿入位置が正しくないままCLOSEにタッチすると、モニターにメッセージが表示され、音声による案内が行われます）。

SD カードの取り外しかた

注意

- SDカードを取り外す場合は、次の手順のとおりに行ってください。SDカード内のデータが破損する恐れがあります。
- SDカードは中央部をゆっくりと押して、まっすぐ取り出してください。
- 取り外したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。

1 (メニュー)を押し、EJECT/TILTにタッチする

2 SDカード取り外しにタッチする

▼

モニターが開きます。

3 “カチッ”と音がするまでSDカードを押し込んで離す

▼

SDカードが押し出されます。

4 SDカードをまっすぐ引き抜き、CLOSEにタッチする

▼

モニターが閉じます。

画面を見やすく調整してみよう

注意

- 本機を使用していないときは、モニターを閉じた状態にしてください。
- モニターの角度調整や開閉を無理に行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- モニターの角度調整や開閉をするときに、物を挟まないように注意してください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉操作をしてください。

メモ

- 液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度を調整し、調整した角度に合わせて黒の濃さを調整してください。液晶画面自体の明るさや色温度なども変更できます。お好みに応じて調整してください。

モニターの角度を調整する

1 (メニュー)を押し、EJECT/TILTにタッチする

2 ＋または－にタッチする

▼

タッチするごとに、モニターの角度が変わります。

メモ

- 角度調整したモニターは、次にエンジンスイッチをON（本機の電源をON）にしたとき自動的に調整した角度になります。

画質を調整する

1 (メニュー)を長く押す

2 調整したい項目にタッチする

地図画面とAVソース画面を同時に表示してみよう

画面を2分割して、地図画面とAVソース画面を同時に表示させることができます。

1 現在地画面で、ビューにタッチする

2 AVサイドビューにタッチする

▼

2画面表示に切り換わります。

ナビゲーションの音量を調整してみよう

1 メニューを押し、設定・編集にタッチする

2 案内・ハンズフリー音量設定または案内音量設定にタッチする

3 調整したい項目の＋/－またはON/OFFにタッチする

メモ

- マイセットアップ（→*P15*）でも調整できます。
- 操作音は、それぞれの調整した音量と同じ大きさで鳴ります。
- 調整・補正メニュー（→*P31*）の「音量／消音設定」では、より詳しい設定ができます。
- オーディオの音量調整については、*P17*をご覧ください。

注意

- 操作音をOFFに設定すると、警告音も鳴らなくなりますのでご注意ください。

カスタムキーの操作を覚えよう

普段よく使う機能を、画面下部に表示されるカスタムに登録できます。工場出荷時は「地点を登録する」です。

カスタム機能を設定する

1 メニューを押し、設定・編集－システム設定－カスタム設定にタッチする

2 登録したい機能を選ぶ

カスタム機能を使う

1 現在地画面で、カスタムにタッチする

▼

登録した機能（例：ロゴマークをON/OFFする）が動作します。

メモ

- 以下の機能は、地図画面またはAVソース画面のどちらでも動作します。
  - 周辺施設を探す
  - よく行くランキングから探す
  - 自宅へ帰る
  - 周辺充電スポットを探す（EVモードONの場合）
  - アイドリングアッテネーター設定ON/OFFする
  - アッテネーターをON/OFFする
  - 全画面に時計を表示する

  その他の機能は、地図画面でのみ動作します。

現在地を登録してみよう

旅先など景色のきれいで覚えておきたい場所を登録しておくと、目的地を設定する際などに利用できます。

1 登録したい場所に車を停める

2 現在地画面で、カスタムにタッチする

▼

場所が登録されます。

メモ

- 現在地の住所付近の名称で登録されます。
- カスタムキーに「地点を登録する」を設定してください。（工場出荷時の設定は「地点を登録する」です。）
- カスタムキーに他の機能が設定されていると、手順2の操作では登録できません。

登録した場所を編集してみよう

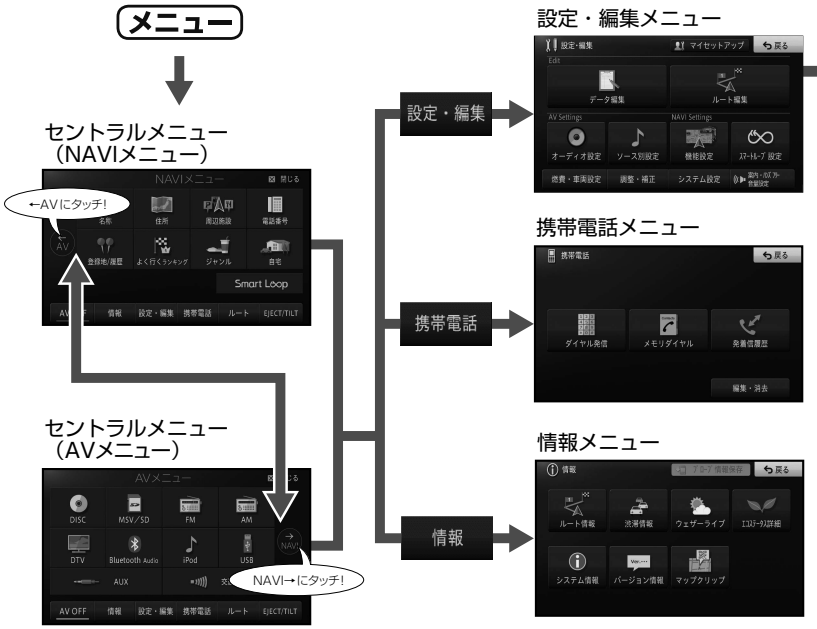
以下の情報を編集することができます。

詳しくは、ユーザーズガイド「登録した場所の編集」を参照してください。*（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP10をご覧ください。）*

- 名前
- ヨミ
- 電話番号
- 2Dマーク
- 3Dマーク
- 方向指定
- グループ
- 位置修正
- 効果音

メニューの操作を覚えよう

本機では、用途に応じていろいろなメニュー画面が表示されます。
それぞれの使いかたを覚えておくと便利です。

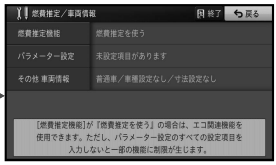


データ編集メニュー

データ編集

燃費・車両設定

燃費・車両設定メニュー
（電力消費率・車両設定※）



※EVモード設定がONの場合

ルート編集メニュー

ルート編集

調整・補正

調整・補正メニュー

オーディオ設定メニュー

オーディオ設定

システム設定

システム設定メニュー

その他設定

その他設定メニュー

ソース別設定メニュー

ソース別設定

機能設定メニュー

機能設定

案内・ハンズフリー音量設定

案内・ハンズフリー音量設定メニュー

スマートループ設定メニュー

スマートループ 設定

セントラルメニュー

セントラルメニューには、いろいろな機能が集められています。

NAVI→	行き先を探してルートを探索したり、場所を探して詳細情報の表示や登録などができます。
←AV	CDやDVD、TVなどのオーディオ機能が利用できます。
AV OFF	オーディオ機能の利用を中止することができます。
情報	ルート情報や渋滞情報、バージョン情報など各種情報を確認・利用できます。
設定・編集	各種データやルートの編集、オーディオ関連の設定やナビゲーション関連の設定などができます。
携帯電話	発信操作や発着信の履歴操作、メモリダイヤルの読み込み・利用、各種編集・消去などができます。
ルート※	ルート再探索や別ルートの探索、ルート消去などルートに関する操作ができます。
EJECT/TILT	ディスクやSDカードの挿入や取り出し、モニターの角度調整ができます。

※：案内中ルートがある場合

■NAVIメニュー

NAVIメニューには、場所を探すメニューが集められています。

名称	行き先のヨミ仮名を入力して検索します。ジャンルやエリアを指定して、絞り込めます。
住所	行き先の住所を入力して検索します。
周辺施設	自車の位置または地図をスクロールさせた位置やルート周辺から特定の施設を検索します。
電話番号	行き先の電話番号を入力して検索します。
登録地/履歴※1	登録した場所や今までに検索した場所の履歴から検索します。検索履歴の場合、日付順や自車位置またはスクロール地点に近い順、ヨミ順などで絞り込めます。
よく行くランキング※2	よく行く行き先のランキングを表示します。
ジャンル	行き先のジャンルを選んで検索します。
自宅	自車位置やスクロール地点、検索結果地点などを、自宅として登録できます。登録済みの場合は自宅へのルート探索ができます。
Smart Loop※3	スマートループポータルサイトに接続し、駐車場満空情報・ガスタ価格情報・TV紹介スポット、お出かけフォルダー、お知らせなどを利用することができます。また、お客様登録などを行うこともできます。 EVモード設定がONの場合は、充電スポット満空情報を利用することができます。

※1：登録地点や検索履歴がある場合
※2：ランキング情報がある場合
※3：通信接続可能な状態にある場合

■AVメニュー

AVメニューには、オーディオに関するメニューが集められています。

DISC（CD/ROM/DVD）	音楽CD、楽曲や映像を記録したCD-R/RW/DVD-R/RW、DVD-VideoやDVD-VRを再生できます。挿入されたディスクの種類に応じて、AVソースのアイコンが変わります。
MSV/SD※1（ミュージックサーバー）	SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイル、音楽CDから録音した楽曲データなどを再生できます。
FM/AM	ラジオが聞けます。
DTV	テレビが見られます。
Bluetooth Audio※2	接続したBluetooth Audio機器の音楽ファイルを再生できます。

iPod※3	接続したiPodの音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。接続方法については、*P47*をご覧ください。
USB※4	USBメモリーに保存した音楽ファイルを再生できます。
AUX※5	接続したビデオカメラなどの外部機器の映像と音声を再生できます。
ドライブレコーダー※6	接続したドライブレコーダーの映像を表示したり、録画した動画を再生したりできます。
交通情報	幹線道路などで放送されているAMの交通情報が聞けます。

※1：SDカードが挿入されている場合
※2：Bluetooth Audio機器が接続されている場合
※3：iPodが接続されている場合
※4：USBが接続されている場合
※5：ソース別設定（→*P46*）でAUX設定の入力設定をONにした場合
※6：ドライブレコーダー設定（→*P56*）をONにした場合

■情報メニュー

情報メニューには、ルートや渋滞、エコステータス、システムなどのメニューが集められています。

プローブ情報保存	蓄積型プローブ情報をSDカードに保存できます。
ルート情報※1	ルートの確認や消去、詳細設定などができます。
渋滞情報	文字や図形のVICS情報を確認できます。また、通信を利用しての渋滞情報（オンデマンドVICS／スマートループ）が取得できます。
ウェザーライブ	通信可能な状態であれば、気象情報の取得や表示ができます。
エコステータス詳細	エコステータスの内容をグラフや指数などで、詳しく確認できます。
システム情報	センサー学習の状況や各機器の取付け状態、SDカードの空き領域の情報を確認できます。
バージョン情報	収録データのバージョンを確認できます。
マップクリップ	表示中の地図情報を2次元バーコード（QRコード）に変換できます。
ETC利用履歴※2	ETCカードに記録された利用履歴を確認できます。

※1：案内中ルートがある場合
※2：ETCユニットが接続されていて、ETCカードが挿入されている場合

メモ

- 「プローブ情報」とは、以下のデータの総称です。
  - ― 蓄積型プローブ
    SDカードとパソコン経由で専用サーバーへ送信される、本機に蓄積されたオートパーキングメモリーや走行履歴などのナビゲーションに関する情報など
  - ― リアルタイムプローブ
    本機に接続された通信機器を使って、専用サーバーへ送受信される現在の走行履歴データ

■設定・編集メニュー

設定・編集メニューには、設定または編集に関するメニューが集められています。

マイセットアップ	マイセットアップができます。
データ編集	登録地や駐車場履歴データ、ドライブプランの編集ができます。また、よく行くランキングや検索履歴、文字入力履歴、オートリルート履歴、学習ルート、走行軌跡、オービスデータの消去ができます。
ルート編集※1	ルートの確認や消去、詳細設定などができます。
オーディオ設定※2	オーディオの音質を調整できます。
ソース別設定	DTVやSDなど、各オーディオ機能特有の設定ができます。
機能設定	地図表示やルート、渋滞情報などナビゲーションに関する設定ができます。
スマートループ設定	スマートループを利用するための初期登録や各種設定などができます。
燃費・車両設定（電力消費率・車両設定※3）	燃費推定機能の使用有無やパラメータ（燃料単価や排気量など）の設定、車両情報の入力ができます。
調整・補正	ナビゲーションの案内音量、ハンズフリー時の着信・受話音量の調整と操作音のON/OFF、消音タイミングと消音レベルの設定、ガイド音声出力時のスピーカー選択などができます。また、自車位置がずれた場合の修正や、走行している道路の認識が間違った場合の切り換えもできます。

システム設定	Bluetooth設定やカスタム設定、セキュリティロックの設定、オプション品（ETC2.0ユニット、ドライブレコーダー）の設定などができます。 販売店設定は、販売店が使用するメニューです。
案内・ハンズフリー音量設定	ナビゲーションの案内音量やハンズフリー時の着信・受話音量の調整と操作音のON/OFFを設定できます。

※1：案内中ルートがある場合
※2：AV機能利用中の場合
※3：EVモード設定がONの場合

■携帯電話メニュー

携帯電話メニューには、携帯電話機能に関するメニューが集められています。

ダイヤル発信	ダイヤル発信画面を表示し、10キーを使って電話番号を入力し、発信できます。
メモリダイヤル	接続中の携帯電話から読み込んだメモリダイヤルをリスト表示し、選んだ相手に発信できます。
発着信履歴	本機と接続中に発信または着信された電話番号の履歴をリスト表示し、選んだ番号に発信できます。
編集・消去	メモリダイヤルの読み込みや消去、発着信履歴の消去ができます。

ショートカットメニューの操作

場所を探した際に、利用頻度の高い機能（ルート探索や場所の登録など）がショートカットメニューとして表示されます。

1 地図をスクロールするか場所を探す

2 実行したい機能を選んでタッチする

周辺施設を探す	探した場所の周辺の施設を検索することができます。
マップクリップ	表示中の地図情報を2次元バーコード（QRコード）に変換できます。
ここを登録する	探した場所を登録できます。
ここへ行く	探した場所までのルート探索ができます。
／	ショートカットメニューを表示・非表示することができます。

▼

選んだショートカットメニューが実行されます。

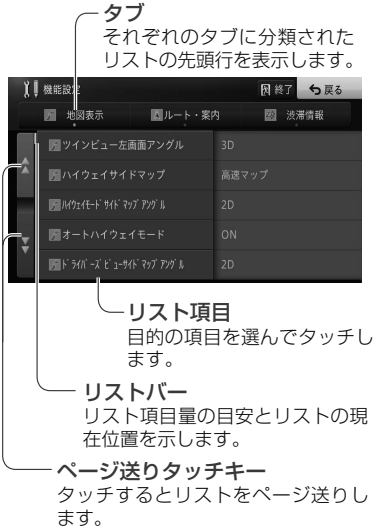
メモ

- 検索機能を使って表示させたショートカットメニューを解除するときは、戻るにタッチします。地図をスクロールして表示させたショートカットメニューを解除するときは、現在地を押します。

リスト画面の操作を覚えよう

機能に応じていろいろなリスト画面が表示されます。それぞれの使いかたを覚えておくと便利です。

基本的なリストの操作



その他のリスト操作

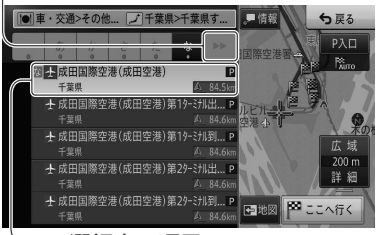
■50音タブ付きリストの操作

サイドマップなし

50 音タブ
選んだタブの先頭からリスト表示します。
同じタブに繰り返しタッチすると、音送りでリスト表示します。
（あ→い→う→え→お）

サイドマップあり

タブ送り
サイドマップが表示されている場合は、50 音タブが省略表示されます。タッチするごとに隠れている 50 音タブを表示します。



選択中の項目
選択中の項目は、リストの色が変わります。
検索結果のリストなどでは、あらかじめリスト最上段の項目が選択状態となります。

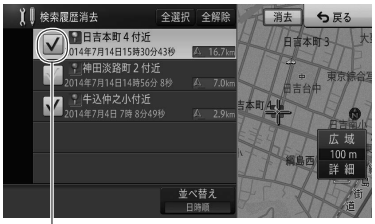
■ポップアップメニューの操作

ポップアップメニュー
選んだ項目に選択肢がある場合に表示されます。

■並べ替えの操作

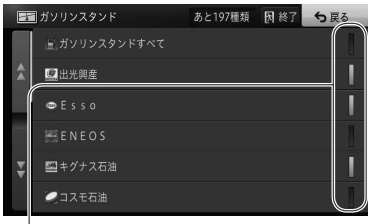
並べ替え
タッチするごとに、ヨミ順や近い順などのようにリスト表示を並べ替えます。
並べ替えの種類は、表示している画面によって異なります。

■チェックタイプリストの操作



チェックマーク
タッチするとチェックマークが表示され、選択中であることを示します。もう一度タッチするとチェックマークが消え、選択が解除されます。

■インジケーター付きリストの操作



インジケーター
タッチするとインジケーターが点灯し、選択中であることを示します。
もう一度タッチするとインジケーターが消灯し、選択が解除されます。

地図の見かたや操作を覚えよう

現在地画面の見かた

情報ウィンドウ表示
情報ウィンドウ表示の内容は、機能設定（→*P42*）で市区町村名、走行道路名、緯度経度、AV 情報、エコステータスの５種類に切り換えができます。
VICS WIDE 緊急情報を受信した時は切り換えることはできません。

現在の時刻

方位表示
赤い三角が北方向を示します。

スケール表示
下の▬がスケールの距離を示します（2D 表示のみ）。

自車マーク
車の位置と進行方向を表します。

軌跡表示

各種アイコン表示

渋滞情報提供時刻表示
（→P41）

昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなることがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。例えば日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定できます。昼画面と夜画面の切り換えを車のスモール灯のON/OFFと連動させたり、常に昼画面を表示させておくこともできます。本書では、昼画面を例に説明しています。

画面下部に表示されるアイコンについて

本機の設定や機器の接続状況に応じて、各種アイコンが表示されます。

アイコン例	表示条件
	サイレントガイドでルート案内中に表示されます。
	本機に挿入されたSDカードを認識すると表示されます。
	ナビゲーションに蓄積されたプローブ情報をSDカードへ保存しているときに表示されます。
	ナビスタジオのMSVタイトルエディター（→*P60*）での編集内容を反映中や、録音データの全消去中に表示されます。
	地図データ等の更新時に表示されます。 更新中は、進捗状況が%で表示されます。 更新マークが表示されているときは、SDカードを抜かないでください。
	音楽CDからSDカードへの録音中に表示されます。
	ナビゲーションに蓄積されているプローブ情報が保存サイズ上限に近づくと表示されます。マークが表示された場合は、プローブ情報をSDカードに保存し、ナビスタジオを使用してサーバーにアップロードしてください。
	Bluetooth機器接続中は青色で表示され、未接続は灰色で表示されます。電波発射がOFFに設定されている場合および音声案内がOFFの場合は表示されません。

FULL	ナビゲーションに蓄積されているプローブ情報が保存サイズ上限に達すると表示されます。マークが表示された場合は、プローブ情報をSDカードに保存し、ナビスタジオを使用してサーバーにアップロードしてください。 マークが表示された状態のまま本機をお使いいただくこともできますが、蓄積されたプローブ情報は古いものから順に消去され、新しいプローブ情報が蓄積されます。
7℃ 50% 予報 18:00	ウェザーライブによる天気予報（気象情報や予想気温、降水確率）を取得している場合に表示されます。また、取得した天気予報の予報時刻を表示します。ルート設定時は目的地付近、ルート設定がない時は現在地付近の予報を表示します。（予報の右の自車マークが現在地付近を示します。目的地付近の場合はチェッカーフラッグとなります。）
ETC	接続した別売のETCユニットやETC2.0ユニットにETCカードが挿入されると表示されます。ETCカードの有効期限が切れている場合は、アイコンの上に赤い斜線が表示されます。
	Bluetooth機器がハンズフリー接続されると表示され、基地局とBluetooth機器間の電波強度を示します。
	音声案内をOFFにすると表示されます。
	通信機能が利用可能な状態の場合、スマートループポータルサイト（→*P30*）のお知らせに、メッセージが届くと表示されます。最も重要なメッセージが未読の場合は赤、その他のメッセージが未読の場合は白のアイコンが表示されます。メッセージ取得から30日経過した場合や、メッセージがすべて既読状態になると、アイコンは消えます。
	Bluetoothのパーソナルエリアネットワーク（PAN）機能を使って回線接続されている場合に表示されます。

メモ

- 同種のアイコンなどは、一度に1 種類しか表示されないものもあります。

地図を動かす

地図上の見たい場所にタッチするか、見たい場所の方向にタッチすると地図が動きます。この動作をスクロールといいます。

1 地図上の見たい場所にタッチする

スクロール方面表示
地図のスケールが、10 m ～ 1 km スケールのときに表示されます。

▼

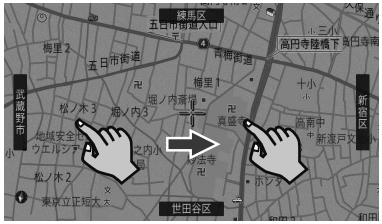
十字カーソルが表示され、タッチした場所が中心となるように地図が動きます。

地図上ではフリック／ドラッグ操作ができます。

フリック操作

画面を指で払うようにすると、指を払った方向に地図が移動します。（フリックスクロール）

ドラッグ操作



画面にタッチしたまま指を動かすと、指の動きに従って地図が動きます。（ドラッグスクロール）

メモ

- ノーマルビューの場合は微調整が表示されます。
- タッチし続けると、その方面にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロール速度が速くなります。
- 走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。

2 微調整にタッチする

現在地の方向
十字カーソル位置と現在地を結んだ線。

十字カーソル位置の地名
十字カーソル位置周辺の地名を示します。

現在地から十字カーソル位置までの直線距離

3 表示を微調整する

矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の位置をタッチしても地図が動きます。

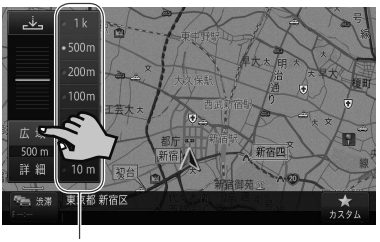
メモ

- もう一度微調整にタッチすると、8方向の矢印が消えます。
- 走行中は微調整の操作はできません。
- 現在地を押すと、現在地周辺の地図に戻ります。

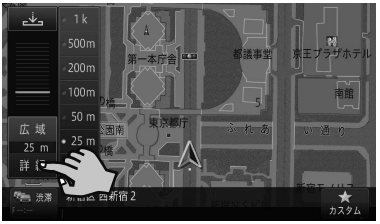
地図のスケールを変える

10 m ～ 500 kmの範囲で地図のスケールを変更できます。

1 現在地画面で、広域または詳細にタッチする



ダイレクトスケールキー ⬆⬇



広域	地図をより広く見たいとき
詳細	地図をより詳しく見たいとき

ダイレクトスケールキーから直接スケールを選ぶこともできます。

メモ

- にタッチすると、元の画面に戻ります。
- 停車中のみ、広域／詳細にタッチし続けることで、スケールを段階的に変えることができます（フリーズーム）。
- ビュー→スケール登録の順にタッチして、現在の地図スケールを登録することもできます。登録したスケールは現在地を押して呼び出せます。

地図の向きを変える

ノーマルビューでの地図の向きを変更できます。地図の向きに関して詳しくは、*P37の「地図の表示方法を変える」*をご覧ください。

1 現在地画面で、ビューにタッチする

2 地図方位にタッチする

▼

ヘディングアップまたはノースアップに切り換わります。

地図の表示方法を変える

地図の表示方法（ビューモード）や強調させたい地図の情報（ターゲットマップ）を、お好みに合わせて変更できます。

1 現在地画面で、ビューにタッチする

2 表示方法を選んでタッチする

ノーマルビュー	平面で表示できます。
スカイビュー	上空から見ているように表示できます。
ドライバーズビュー	ドライバーの目線で見ているように表示できます。
ツインビュー	左右に2分割して異なる方法で表示できます。
AVサイドビュー	地図画面とAV画面を同時に表示できます。
ハイウェイモード※	有料道路専用画面で表示できます。
通常表示	工場出荷時の状態（情報）で表示できます。
文字拡大	地図上の文字情報のみを拡大表示できます。
道路重視	地図上の道路情報のみを強調表示できます。

※：有料道路走行中の場合

▼

選んだビューモードやターゲットマップで表示されます。

目的地を探してルート案内してみよう

本書では例として、NAVIメニューの「ジャンル」から「成田国際空港」を探して目的地とする方法を説明します。その他の検索方法について、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。*（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*

1 メニューを押し、ジャンルにタッチする

メモ

- AVメニューが表示されているときは、NAVI→にタッチしてください。

2 車・交通にタッチする

3 ▼ー その他　車・交通にタッチする

4 空港ー都道府県を指定して探すにタッチする

メモ

- ▲付近で探すにタッチすると、現在地付近の空港を探します。

5 た－千葉県にタッチする

6 千葉県すべてにタッチする

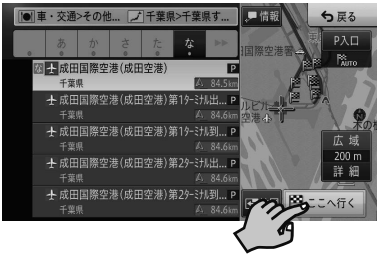
▼

検索の結果、該当する施設がリストで表示されます。

メモ

- 目的の施設がある市区町村までわかっている場合は指定してください。検索結果を絞り込めます。

7 ここへ行くにタッチする



メモ

- 目的の施設が選択されていないときは、リストから選んでここへ行くにタッチします。
- もう一度成田国際空港（成田空港）にタッチするか、地図にタッチすると、画面全体が地図画面に切り換わります。選んだ施設にはカーソルが表示され、施設名称が画面下部に表示されます（アクティブインフォ）。
- 情報にタッチすると、選んだ施設の詳細情報を確認できます。
- 詳細情報に電話番号がある場合は、その電話番号へ発信できます（携帯電話が接続されている場合に限り）。
- 詳細情報に施設の候補が複数ある場合は、前の施設や次の施設にタッチして詳細情報の切り換えができます。

8 案内開始にタッチするか、走行を開始する

▼

行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます）。

注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。最適になるとは限りません。
- 渋滞考慮ルート、有料道回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によりルート探索できないことがあります。

メモ

- 目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

到着予想時刻表示
目的地または立寄地までの進捗度が表示されます。
タッチすると、表示内容が切り換わります。

① 8:06着 あと13.5km：目的地の到着予想時刻と残りの距離
↓
② 8:23着 あと28.7km：立寄地の到着予想時刻と残りの距離（立寄地を指定した場合）
↓
③ 07:21着 7h経過：出発時刻と経過時間

ルートインフォメーション
2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の名称が表示されます。矢印（例：）にタッチするごとに、最大5つ先までの案内地の音声案内と地図表示を順に行います。
（→*P40*）

レーン案内表示
レーンごとの進行方向が表示されます。誘導レーンは緑色（推奨レーンは黒矢印）で表示されます。

方面看板表示

ルート
設定したルートは、一般道は明るい緑色（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色）で表示されます。

目的地の方向
現在地と目的地を結ぶピンク色の直線で表示されます。到着予想時刻表示を②にしている場合は、現在地と立寄地を結ぶ直線となります。

交差点を通過すると現在地画面に戻ります。

現在地画面
↑↓
交差点案内表示画面

交差点に近づくと交差点案内画面に変わります。

ドライバーズビュー（工場出荷時の設定）

サイドマップ
機能設定（→*P42*）の「ドライバーズビューサイドマップアングル」で、2Dまたは3Dを選択できます。

メモ

- 交差点案内表示は、機能設定（→*P42*）で「ドライバーズビュー」「拡大図」「アローガイド」の3種類から選べます。

ルート案内中の主な機能

■サイレントガイドについて

サイレントガイドとは、ルート案内中の音声案内と地図上の案内表示を最小限にして、目的地までのルート案内を行う機能です。
自宅周辺など道がよくわかっている付近の走行など案内割り込みが不要な場合や、ルートはわかっているが目的地や立寄地の到着（通過）予想時刻が知りたい場合などに便利です。
機能設定（→*P42*）の「オートサイレントガイド」をONに設定すると、自動的にサイレントガイドでルート案内を開始します。

メモ

- 到着予想時刻は、目的地または立寄地で切り換えができます。
- サイレントガイドの地図画面は、2Dか3Dを選べます。
- サイレントガイド中でも、別ルートへの案内（ルートアドバイザー）やオートリルート、駐車場マップやビーコン割り込み情報（別売のETC2.0ユニット接続時）の表示は行われます。
- サイレントガイド中にルートインフォメーションの矢印にタッチすると、次の案内地点が音声と画面表示で案内されます。（リクエスト案内）
- カスタムに「サイレントガイドをON/OFFする」を登録して切り換えることもできます。（→*P26*）

■オートリルートについて

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します（オートリルート）。

▼

メモ

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います（インテリジェントリルート）。

■ルートアドバイザーについて

新しいルートが見つかると、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートを表示します（ルートアドバイザー）。

新ルート	新ルートで案内します。
元ルート	元ルートで案内します。

ルート案内中の主な操作

■次の案内地を確認する（リクエスト案内）

ルートインフォメーションにタッチすると、次の案内地を音声案内と地図表示で案内します。

1 現在地画面でルートインフォメーションの矢印にタッチする

▼

メモ

- 本操作を繰り返すごとに、最大5カ所先の案内地まで順に表示できます。
- 交差点案内表示をアローガイドに設定している場合は、次の案内地点部分にタッチしても確認できます。
- 画面の表示状態によって、タッチ操作の回数が増える場合があります。

■ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報は自動的に音声で案内されます（渋滞オートガイド）。

メモ

- VICS情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、“およそ3 km 先、1 km の渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”などと案内されます。

手動操作でもルート上の渋滞情報を確認できます（渋滞チェック）。

1 現在地画面で、渋滞にタッチする

▼

渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況が文字表示と音声で案内されます。

メモ

- 本操作を繰り返すごとに、5カ所先の渋滞状況まで順に案内できます。
- 案内中のルートがない場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。
- 本機が専用サーバーに接続可能な状態にあるときは、渋滞に長くタッチすると、オンデマンドVICSやスマートループ渋滞情報を取得することができます。※（→*P54*）
  ※ 別途、登録や設定が必要です。

■ルートを消去する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止できます。

1 メニューを押し、ルート－消去にタッチする

▼

ルート消去確認メッセージが表示されます。消去する場合ははいにタッチしてください。いいえにタッチすると消去を中止してルート案内を続行します。

メモ

- 情報メニュー（→*P31*）のルート情報、または設定・編集メニュー（→*P31*）のルート編集から操作することもできます。
- 消去したルートは復活できません。

ナビゲーションの機能設定をしてみよう

用途や好みに応じて設定を変更すると、ナビゲーションが使いやすくなります。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

機能設定の設定項目一覧

	設定項目	工場出荷時
地図表示	**ツインビュー左画面アングル** ツインビュー表示時の左画面のアングルを設定します。	3D
	ハイウェイサイドマップ ハイウェイモードで都市高速を走行するときのサイドマップを設定します。	高速マップ
	ハイウエイモードサイドマップアングル ハイウェイモードのサイドマップのアングルを設定します。	2D
	オートハイウエイモード 有料道路走行時にビューモードを自動的にハイウェイモードに切り換えるか設定します。	ON
	ドライバーズビューサイドマップアングル ドライバーズビューのサイドマップのアングルを設定します。	2D
	AVサイドビューアングル AVサイドビューのサイドマップのアングルを設定します。	2D
	サイレントガイドアングル サイレントガイドのアングルを設定します。	2D
	シティマップ シティマップ対象エリア内で50 m以下のスケールで表示した場合、シティマップを表示するかを設定します。	ON
	スカイシティマップ シティマップをスカイビューで表示した場合に建物などを立体的に表示するかを設定します。	ON
	シティマップ境界表示 シティマップ対象エリアから外れるときに境界線を表示するかを設定します。	OFF
	地図色切換 地図色が切り換わるタイミングを設定します。	時刻連動
	走行軌跡表示 走行軌跡を地図上に表示するかを設定します。	ON
	走行軌跡自動消去 走行軌跡を消去するタイミングを設定します。	OFF
	ロゴマーク表示スケール ロゴマークや周辺検索の結果を表示するスケールを設定します。	1 ｋmスケール以下
	登録地マーク簡易表示 登録地マークを簡易的に表示するスケールを設定します。	簡易表示しない
	ボトルネック踏切マーク表示 ボトルネック踏切マークを地図上に表示するか設定します。	ON
	一時停止表示 一時停止マークを地図上に表示するか設定します。また、効果音による通知も設定します。	ON（音あり）
	冠水注意地点マーク表示 冠水注意地点マークを地図上に表示するかを設定します。	ON

地図表示	**ゾーン30エリア表示** ゾーン30エリアを地図上に表示するかを設定します。	OFF
	拡張事象規制エリア表示 拡張事象規制エリアを地図上に表示するかを設定します。	ON
	2D（ノーマルビュー）固定スクロール スクロール画面をノーマルビューに固定するかを設定します。	OFF
	情報ウィンドウ表示 地図画面に表示する情報ウィンドウの内容を設定します。	市区町村名
	オービスポイント オービスポイントを表示して注意音を鳴らす条件を設定します。 （別売のオービスデータを読み込ませたときに表示され、選択できます。）	全ポイント
ルート・案内	**ルート探索基準** ルート探索の基準をあらかじめ設定できます。	推奨
	有料道路使用条件 ルート探索時に、有料道の利用基準をあらかじめ設定できます。	標準
	フェリー航路使用条件 ルート探索時に、フェリー航路の利用基準をあらかじめ設定できます。	標準
	学習ルート探索 学習したルートを考慮してルート探索するかを設定できます。	ON
	渋滞考慮ルート探索 渋滞情報を取得済みの場合は、その情報を考慮してルートを探索できます。	渋滞情報・天気考慮渋滞予測
	時間規制考慮ルート探索 日付や時刻による通行規制を考慮してルート探索するかを設定できます。	ON
	スマートIC考慮ルート探索 スマートICを乗降ICの対象としてルート探索するかを設定できます。 ルート案内中は設定できません。	OFF
	ルートアドバイザー 新しい候補ルートを提供する際、どの情報を考慮するかを設定します。	すべて考慮
	ルートアドバイザー自動決定ルート ルートアドバイザーによる新ルートと元ルートの選択画面でタッチ操作が行われない場合に選択する、規定のルート候補を設定できます。	元ルート
	到着予想時刻表示 ルート案内時に表示する情報を設定します。	目的地（到着時刻・残距離）
	到着予想時刻速度（一般道） 渋滞考慮ルート探索設定で「考慮しない」にした際、一般道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。	30 km/h
	到着予想時刻速度（有料道） 渋滞考慮ルート探索設定で「考慮しない」にした際、有料道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。	80 km/h
	交差点案内表示 一般道のルート案内時に、交差点などの案内地点に近づいたときに表示される案内図の種類を選択します。	ドライバーズビュー
	方面案内表示 一般道走行時に方面案内看板を表示するか設定します。	ON
	ETCレーン案内表示 有料道走行時にETCレーン案内を表示するかを設定します。	ON
	料金案内 ルート案内中に通行にかかった、またはかかる有料道路の料金を音声で案内するかを設定します。	ON
	オートフリーズーム オートフリーズーム（現在地と直近の案内地との距離に合わせて地図スケールを自動的に変更する機能）のスケール範囲の設定をします。	OFF
	オートアングルチェンジ 案内地点でのドライバーズビューの視点変更を行うかを設定します。	ON
	リクエスト案内 リクエスト案内時の案内方法を設定します。	音声案内・地図表示

ルート・案内	**信号機ジャスト案内** 信号機を目印にした音声案内を行うかを設定します。	ON
	一般道シンプルガイド 通常の音声案内よりも回数と内容を少なくして、一般道のルート案内を行うかを設定します。	OFF
	オートサイレントガイド ルート案内の開始時に、自動的にサイレントガイドで案内を行うかを設定します。	OFF
	AV画面への割り込み AV画面を表示中に割り込み表示させる内容（交差点案内表示、ビーコン情報（ITSスポットの5.8 GHz VICS情報）、ルートアドバイザーの情報）を設定します。	すべてON
	有料道注意地点・県境案内 有料道走行時に注意地点と県境を音声で案内するか設定します。	ON
	踏切案内 前方に踏切がある場合に音声で案内をするか設定します。	ON
	右左折専用レーン案内 前方の直進レーンが右折または左折レーンに変化する場合、案内をするか設定します。	ON
	リフレッシュ案内 2時間以上本機を連続して使用した場合、休憩を促す案内をするか設定します。	ON
	ライト点灯案内 日が暮れるタイミングでライトの点灯を促す案内をするか設定します。	ON
	エコ運転評価案内 ルート案内後にエコ運転評価案内をするか設定します。	ON
	オートパーキングメモリー オートパーキングメモリーの保存および保存データ（履歴）を利用してルート探索を行うかを設定します。	ON
	ビーコン即時表示 受信したビーコン情報（ITSスポットの5.8 GHz VICS情報）から、即時に表示する情報の種類を設定します。	文字・図形・音声
	ビーコン即時表示時間 ビーコン即時表示を画面上に表示させておく時間を設定します。	10秒
	渋滞オートガイド ルート上に発生した渋滞情報を自動で音声案内するかを設定します。	ON
渋滞情報表示	**渋滞情報表示対象道路** 渋滞情報を表示する対象になる道路を設定します。	有料道・一般道
	渋滞情報表示 渋滞情報を地図上に道塗り表示するかを設定します。	ON
	順調表示 渋滞していない道路情報を地図上に道塗り表示するかを設定します。	OFF
	点滅表示 渋滞・混雑・順調の情報を地図上に表示させる際、点滅表示させるかの設定をします。	ON
	規制表示 規制情報と規制区間を地図上に表示するかを設定します。	ON
	駐車場情報マーク表示 駐車場や臨時駐車場の満空情報マーク、充電スポットの情報マークを地図上に表示するかを設定します。	ON
	区間旅行時間表示 区間旅行時間マークを地図上に表示するかを設定します。	ON

メモ

- 本機に表示される一時停止マークやゾーン30エリアは実際の交通規則や道路標識と異なる場合があります。その場合は、必ず、実際の交通規則や道路標識に従って走行してください。
- 収録されている冠水注意地点は、実際に冠水する可能性のある全ての地点を保証するものではありません。

音楽や映像を楽しもう

CDやDVDなどの音源や映像のことをAVソースといいます。

AVソースを切り換える

1 (メニュー)を押し、←AVにタッチする

2 AVソースを選んでタッチする

▼

選んだAVソースの画面（AVソース画面）に切り換わります。

■AVソースについて

DISC（CD/ROM/DVD）※1	音楽CD、楽曲や映像を記録したCD-R/RW/DVD-R/RW、DVD-VideoやDVD-VRを再生できます。挿入されたディスクの種類に応じて、AVソースのアイコンが変わります。
MSV/SD ※1（ミュージックサーバー）	SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイル、音楽CDから録音した楽曲データなどを再生できます。
FM/AM	ラジオが聞けます。
DTV	テレビが見られます。
Bluetooth Audio	接続したBluetooth Audio機器の音楽ファイルを再生できます。
iPod※1	接続したiPodの音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。
USB※1	接続したUSBメモリーに保存した音楽ファイルを再生できます。
AUX※1	接続したビデオカメラなどの外部機器の映像と音声を再生できます。
ドライブレコーダー※2	接続したドライブレコーダーの映像を表示したり、録画した動画を再生できたりします。
交通情報	幹線道路などで放送されているAMの交通情報が聞けます。

※1：接続していないAVソースや再生の準備ができていないAVソースは選択できません。
接続方法については、*P47*をご覧ください。
※2：ドライブレコーダー設定をONにした場合（→*P56*）

AVソースをOFFにする

1 (メニュー)を押し、AV OFFにタッチする

▼

AVソースがOFFになります。

メモ

- (AV)を長く押して、AVソースをOFFにすることもできます。

AVソースを操作する

基本的なAVソースの操作方法について、CDを例に説明します。

メモ

- 選んだAVソースによって、操作方法や表示されるタッチキーは異なります。詳しくは、『ユーザーズガイド』をご覧ください。*（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*
- あらかじめ再生したい音楽CDを挿入してください。（→*P23*）
- SDカードへの録音を行っていない音楽CD（または一部録音が完了していない曲を含む音楽CD）を挿入すると、自動的に録音が始まります。■録音停止にタッチすると録音を中止できます。録音機能について詳しくは*P48*をご覧ください。

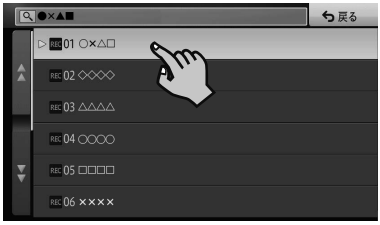
1 (メニュー)を押し、←AV－CDにタッチする

通常再生画面

タイムバー

リスト	リスト画面を表示します。
リピート、ランダム	タッチするごとに、特殊再生を行います。
●録音開始	MSV(SD カード）への録音を開始します。
▶/⏸	再生中は一時停止し、一時停止中は再生を再開します。
◀◀/▶▶	早戻し／早送りを行います。
タイムバー	再生時間と経過時間を表示します。

リスト画面



リスト項目	タッチした曲を再生します。

メモ

- 工場出荷時の状態で未録音の音楽CDを挿入すると自動的に録音を開始する設定になっているため、[●録音開始]は[■録音停止]と表示されます。
  また、録音されていない曲には、REが表示されます。

ソース別設定を行う

ソース別設定とは、オーディオや映像に関する設定を行うメニューです。

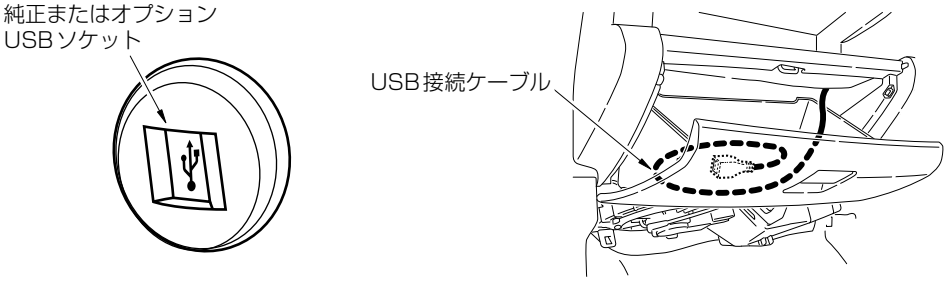
1 (メニュー)を押し、設定・編集ー ソース別設定にタッチする

2 設定したい機能を選んでタッチする

DISC設定	DVD-Video、DVD-VRに関する字幕や音声、映像出力などの設定ができます。
DTV設定	テレビに関する視聴設定や環境設定、視聴者設定クリアなどができます。
MSV/SD設定	音楽CDからSDカードへの自動録音の設定や、録音音質設定、映像ファイルの出力設定などができます。
AUX設定	外部機器の入力設定ができます。

USB メモリー／ iPhone / iPod の接続方法

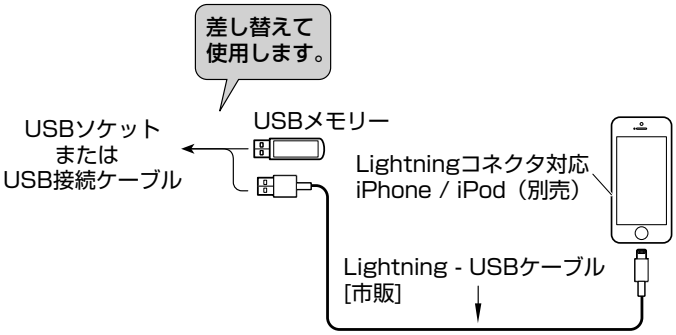
市販のUSBメモリーは、純正またはオプションのUSBソケットかグローブボックス内に収納されているUSB接続ケーブルに接続して、使用することができます。



純正またはオプションのUSBソケットをご利用の場合、USB接続ケーブルはグローブボックス内に取り付けられておりません。

iPhone / iPodをご利用になる場合は、Lightning - USBケーブル[市販]と差し替えて使用してください。

Lightning-USBケーブルは、車内に放置しないでください。

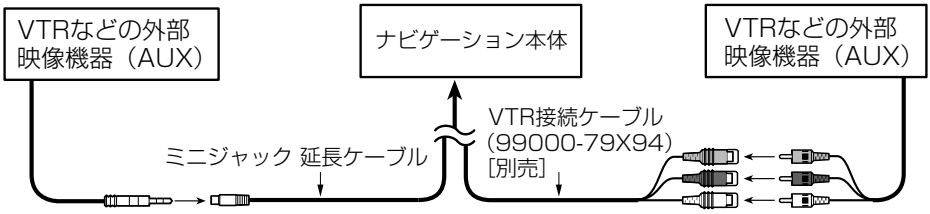


VTR などの外部映像機器（AUX）の接続方法

別売品のVTRケーブルを接続している場合、お客様が使用されているVTRなどの外部映像機器を接続して使用することができます。

ご使用になる製品の端子形状に合わせて、各種変換ケーブルをお使いください。

VTRなどの外部映像機器を接続した場合は、AV機能設定を行う必要があります。



メモ

- 外部映像機器とドライブレコーダーの同時接続はできません。

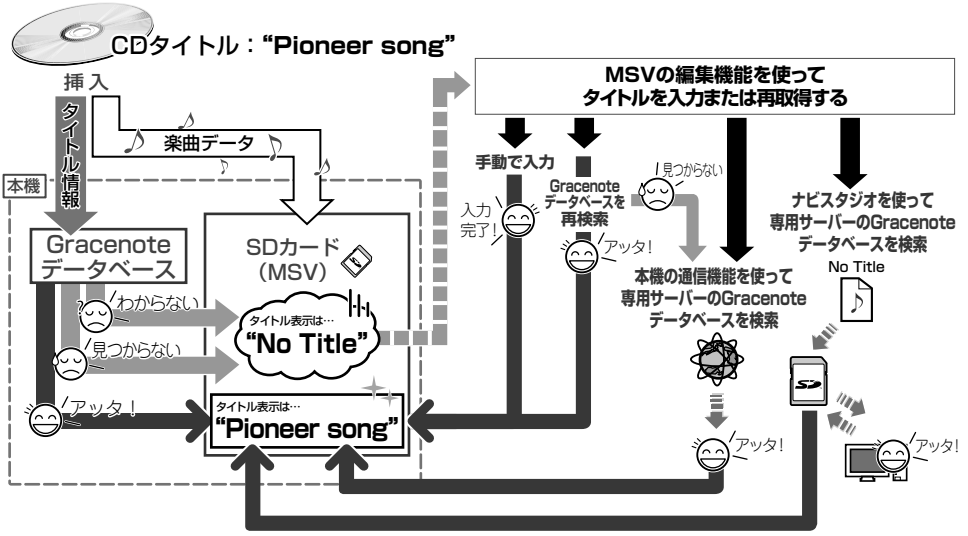
録音機能（ミュージックサーバー）について

本機は、録音機能を搭載しています。録音の対象となるのは、音楽CDのみです。ソース別設定のオート録音モードがONの状態で未録音の音楽CDを挿入すると、自動的に挿入されているSDカードへ録音します。録音完了後は、AVソースからMSV/SDを選ぶと録音した楽曲データを再生できます。

メモ

- 録音に関する設定は、ソース別設定（→*P46*）で変更することができます。
- 録音中は、SDカード内の音楽データの編集（タイトル取得、アルバム消去、トラック消去、マイミックスから消去、録音データの全消去）はできません。
- 差分更新が開始されると、録音は中止されます。録音を再開するときは、差分更新が終了してから●録音開始にタッチしてください。
- 音楽CDを録音すると、SDカードに「NAVIRECDATA2」という録音した音楽データ用のフォルダーが作られます。誤ってこのフォルダーを削除してしまうと、録音した楽曲データも削除されますのでご注意ください。
- SDカードに保存した録音データやパソコンから取り込んだ楽曲データの上限はトラック5 000曲、アルバム300件です。フォルダー階層の制限はありません。
- ライブCDなどの曲間が途切れないCDを録音した場合、本機での再生時には曲間で音が途切れます。
- 楽曲間が短い音楽CDを録音すると、曲の最初や最後に前後の曲の一部が録音される場合があります。

本機にはGracenote音楽認識サービス（以降Gracenoteデータベース）のタイトル情報が収録されており、録音した楽曲データとGracenoteデータベースに収録されているタイトル情報が一致した場合、音楽CDと同じタイトル情報が画面上に表示されます。
録音した音楽CDのタイトル情報が未収録またはタイトル候補が複数あった場合は、「No Title」と表示されます。「No Title」と表示された場合は、ミュージックサーバーの編集機能を使って手動でタイトルを入力するか、タイトル情報を再取得します。再取得時は、はじめに本機内蔵のGracenoteデータベースを検索し、候補が見つかった場合はリスト表示します。候補が見つからない場合は、本機の通信機能を使って専用サーバーのGracenoteデータベースを検索しますが、あらかじめ通信機能の利用準備が必要です。→*P22の「携帯電話を登録しよう」*
その他にも、パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」（*P58*）を利用して専用サーバーのGracenoteデータベースからタイトル取得することもできます。



メモ

- 個人用に作成した音楽CDについては、通信からタイトル取得しても保存形式によっては取得できない場合があります。
- ミュージックサーバーの編集機能を使った手動タイトル入力について詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。*（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*

オーディオ設定をしてみよう

再生中の音源に合わせて設定を変更したり、音質をお好みに合わせて調整できます。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー オーディオ設定にタッチする

カンタンベース設定では、以下の項目を選択することで、あらかじめセットされたグラフィックイコライザー、音場設定、フェーダー、ラウドネス、HPF、バスブースターの項目が一括で設定されます。
工場出荷時は「フラット(初期状態)」です。
- 迫力アップ
- 音声くっきり
- 前席メイン
- 後席メイン
- フラット(初期状態)

詳細設定では、項目別に設定することができます。
設定読み込みでは、SDカードに書き出したオーディオ設定の設定ファイルを本機に読み込むことで、一括でオーディオ設定の各種設定項目を設定できます。

メモ

- 設定読み込みに関して詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。*(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)*

オーディオ設定の詳細設定項目一覧

設定項目	工場出荷時
フェーダー／バランス設定 前後左右の音量バランスを調整できます。	0 ／ 0
リスニングポジション設定 乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。	OFF
グラフィックイコライザー設定 あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調整した設定(CUSTOM)からイコライザーカーブが選べます。	FLAT
タイムアライメント設定 各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音源の定位や全体的なバランスを調整することができます。	0 ㎝
ハイパスフィルター設定 選択した周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。	OFF
サブウーファー設定 サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。	ON
スピーカー出力設定 各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。	±0
ソースレベルアジャスター設定 AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FM の音量を基準にして各ＡＶソースの音量の差をそろえることができます。	±0
音場設定(VSC) お好みの音場をリアルに再現できます。	OFF
バスブースター設定 スピーカーやサブウーファーから出力される低音域の増強効果を設定できます。	0
ラウドネス設定 小さな音量で聞いているときに、低高音の不足感を補正してメリハリのある音にできます。	OFF
アイドリングアッテネーター設定 アイドリングストップ車の車両状態と連動するように、A Vソースのボリュームを調整することができます。	OFF
オーディオ設定SDカード書き出し オーディオ設定をSDカードへ書き出すことができます。	—

再生できるファイルとメディアの種類

本機では、下記の音楽ファイルおよび映像ファイルを再生できます。

	コーデック	拡張子	対応メディア			
			CD-R/RW	DVD-R/RW	USBメモリー	SDカード
音楽ファイル	WMA	.wma	○	○	○	○
	MP3	.mp3	○	○	○	○
	AAC	.m4a	○	○	○	○
	WAV	.wav	—	—	○	○
映像ファイル	MPEG-4	.avi	—	—	—	○
		.mp4/.m4v	—	—	—	○
	H.264	.mp4/.m4v	—	—	—	○
	WMV	.wmv	—	—	—	○
最大フォルダー数			700		300	
最大ファイル数			999	3 500	5 000	

○：対応　—：非対応

メモ

- 雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けないでください。
- DRM（デジタル著作権管理）付きのファイルの再生には対応しておりません。
- WMVのマルチビットレートファイルの再生は、動作保証外です。

音声コーデックについて

対応しているサンプリング周波数、ビットレート、量子化ビット数は以下の通りです。

■対応音声コーデック一覧

	WMA	MP3	AAC	WAV
サンプリング周波数	8 kHz ～ 48 kHz	MPEG1: 32 kHz ～ 48 kHz MPEG2: 16 kHz ～ 24 kHz MPEG2.5: 8 kHz ～ 12 kHz	8 kHz ～ 48 kHz	16 kHz ～ 48 kHz
ビットレート	CBR: 5 kbps ～ 320 kbps VBR: 48 kbps ～ 192 kbps Quality based VBR: 10 kbps ～ 98 kbps	MPEG1: 32 kbps ～ 320 kbps MPEG2: 8 kbps ～ 160 kbps MPEG2.5: 8 kbps ～ 160 kbps	8 kbps ～ 320 kbps	—
量子化ビット数	16	16	16	16

メモ

- エンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- エンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機では、Windows Media Player Ver. 7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 下記形式には対応していません。
  — Windows Media Audio 9 Professional
  — Windows Media Audio 9 Lossless（可逆圧縮）
  — Windows Media Audio 9 Voice
- ひとつのMP3ファイルの中に、異なるバージョン（v1, v2）のID3タグ情報が存在する場合は、v2のタグ情報を優先に表示します。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i（MP3 interactive）フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- 本機では、Windows版のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 本機は、LPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

映像コーデックについて

対応している解像度、フレームレート、ビットレートは以下の通りです。

■対応映像コーデック一覧

	MPEG-4 Video	H.264 /AVC	WMV（VC-1）
プロファイル	Simple Profile	Baseline Profile	Simple Profile
最大解像度（ピクセル）@最大フレームレート	720×480@30 fps	720×480@30 fps	720×480@30 fps
最大ビットレート（平均値/ピーク値）※1	4 Mbps/8 Mbps	2.5 Mbps/4 Mbps	768 kbps/-

※1：映像コンテンツ全体の平均ビットレートが最大ビットレート（平均値）を超えていなくても、瞬間的なビットレートが最大ビットレート（平均値）を連続的に超えると、正常に再生できない場合があります。

メモ

- 作成したアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

音声コーデックと映像コーデックの組み合わせについて

対応している音声コーデックと映像コーデックの組み合わせは以下の通りです。

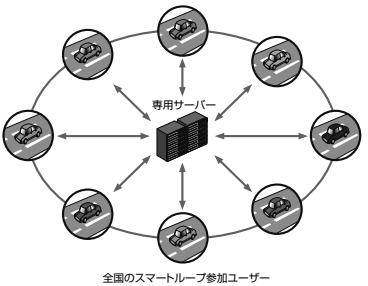
		映像ファイルフォーマット		
		AVI（.avi）	MP4（.mp4/.m4v）	ASF（.wmv）
音声コーデック	None	○	○	○
	MP3	○	—	—
	WMA	—	—	○
	AAC	—	○	—
	LPCM	○	—	—
映像コーデック	MPEG-4 Video	○	○	—
	H.264/AVC	—	○	—
	WMV（VC-1）	—	—	○

○：対応　—：非対応

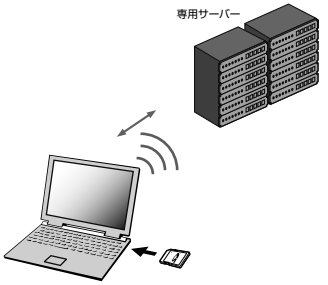
スマートループを利用してみよう

「スマートループ」とは、ご利用登録していただいたお客様からご提供いただく走行履歴データや地点データ、オートパーキングメモリーデータなどを専用サーバーで蓄積管理し、カロッツェリア独自のデータを加えてスマートループ参加ユーザーへ配信する情報共有システムです。
スマートループの利用方法は、車載でのご利用と、SDカードとナビスタジオをインストールしたパソコンを組み合わせてのご利用の2通りがあります。

車載(リアルタイムプローブ)



SDカード + パソコン(蓄積型プローブ)



スマートループ渋滞情報を利用するために必要なこと

スマートループ渋滞情報を利用するためには、次の4つのステップで登録や設定を行います。

① お客様登録(無料)をする(→*P61*)

※ マイセットアップ(→*P15*)で「スマートループお試し登録」を行っていただいた場合は、お客様登録(無料)およびスマートループ設定の初期登録をしなくてもスマートループ渋滞情報を期間限定で体験していただくことができます。体験期間終了後も引き続きスマートループ渋滞情報をご利用される場合や、本機の全機能をお使いになる場合は、お客様登録(無料)を行ってください。

▼

② 通信機器を準備する(→*P52*)

▼

③ 携帯電話を登録する(→*P22*)

▼

④ スマートループ設定をする(→*P52*)

通信機器を準備する

Bluetooth対応の携帯電話をご用意ください。
なお、Bluetooth対応の携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限が発生する場合があります。「*本機と接続可能な通信機器について*」*(→P11)* をご覧になり、事前に確認してください。

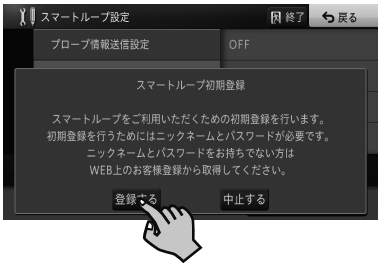
スマートループ設定をする

初期登録※、プローブ情報送信、SDカード保存設定、プローブ情報受信の設定を行います。プローブ情報とは、車両を通じて収集される位置·時刻·路面状況などのデータです。
スマートループでは、より正確な渋滞情報を得るために、お客様からプローブ情報をご提供いただいております。

※ 通信機能で「お客様登録」を行っている場合、または「スマートループお試し登録」を行っている場合は、手順2 ～ 4は行わず、手順5に進んでください。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ースマートループ設定にタッチする

2 スマートループ初期登録ー登録するにタッチする



▼

専用サーバーに接続されます。

3 初期登録(WEBでのお客様登録がお済の方はこちら)にタッチする

メモ

- インターネットでのお客様登録(→*P61*)がお済みでない場合は、お客様登録(お客様登録がお済でない方はこちら)にタッチしてお客様登録を行ってください。お客様登録完了後、手順5に進んでください。(お客様登録は無料)

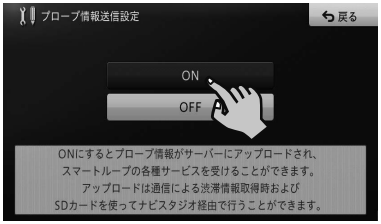
4 ニックネームとパスワードを入力し、**決定**にタッチする

メモ

- ニックネームとパスワードは、お客様登録時に設定されたものを入力します。お客様登録（無料）がお済みでない場合は、先にお客様登録を行い（→*P61*）、ニックネームとパスワードを取得してください。

5 **プローブ情報送信設定**にタッチする

6 **ON**にタッチする



▼

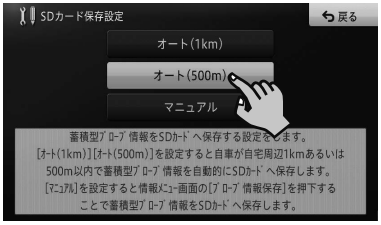
スマートループが利用可能になります。手順7以降は必要に応じて設定してください。

メモ

- OFFのままでは、プローブ情報の送信を行わないため、スマートループは利用できません。
- ONからOFFに変更すると、本機に保存されているプローブ情報の消去確認メッセージが表示されます。設定を変更する場合は**はい**、キャンセルする場合は**いいえ**にタッチしてください。

7 **SDカード保存設定**にタッチする

8 蓄積型プローブ情報をSDカードに保存するタイミングを選んでタッチする

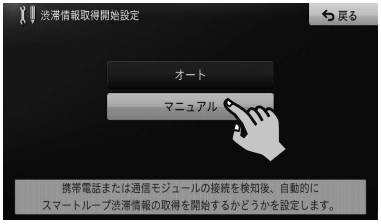


メモ

- マニュアルに設定した場合でもプローブ情報送信設定がON状態でマップチャージ（全データ更新）を行うと、本機を次回起動したときにプローブ情報がSDカードへ保存されます。

9 **渋滞情報取得開始設定**にタッチする

10 **オート**または**マニュアル**にタッチする



メモ

- マニュアルに設定された場合は、*「スマートループ渋滞情報の取得のしかた」*（→ *P54*）をご覧になり、情報取得を行ってください。
- オートに設定された場合は、本機が起動後、本機が初めて通信機器との接続を確認した時点で、１度だけ自動的に渋滞情報を取得します。

11 **渋滞情報連続取得設定**にタッチする

12 **ON**または**OFF**にタッチする

▼

以上で、スマートループ設定は完了です。

メモ

- ON に設定すると、通信費および接続料金発生に関するメッセージが表示されます。通信費および接続料金はお客様負担となります。承諾される場合は**はい**にタッチしてください。
- ONに設定された場合は、続けて取得時間間隔も設定してください。

スマートループ渋滞情報の取得のしかた

1 現在地画面で、**渋滞**に長くタッチする

▼

スマートループ渋滞情報を取得します。

メモ

- 渋滞情報メニュー（→*P31*）の**情報取得**にタッチして、スマートループ渋滞情報を取得することもできます。

スマートループ渋滞情報取得画面の見かた

スマートループ渋滞情報のうち、プローブ情報から生成された渋滞情報は点線で表示され、VICSセンター経由で配信された渋滞情報は実線で表示されます。詳しくは*P95の「記号・マーク一覧」*をご覧ください。

有料道路への表示

渋滞	赤色の破線（濃い青色の枠）
混雑	橙色の破線（濃い青色の枠）
順調	空色の破線（濃い青色の枠）

一般道への表示

渋滞	赤色の破線（淡い赤色の枠）
混雑	橙色の破線（淡い橙色の枠）
順調	空色の破線（淡い青色の枠）

情報提供時刻表示

橙色	情報受信後 5 分未満の状態
青色	情報受信後 5 分以上 30 分未満の状態

メモ

- スマートループ渋滞情報が正しく取得できている場合は、情報提供時刻表示が「S ○○：○○」と表示されます。「O ○○:○○」と表示されている場合は、オンデマンドVICS 情報のみが取得されています。再度、スマートループ設定などを確認してください。
- スマートループおよびオンデマンドVICSについて、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。*（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*

ハンズフリー通話をしてみよう

Bluetooth接続された携帯電話と付属のハンズフリー通話用マイクを使って、ハンズフリー通話ができます。

メモ

- あらかじめ本機に携帯電話を登録してください。(→*P22*)

電話のかけかた

1 (メニュー)を押し、携帯電話にタッチする

2 発信方法を選んでタッチする

ダイヤル発信	数字入力画面を表示します。発信先の電話番号を入力して発信にタッチします。
メモリダイヤル	あらかじめ本機に読み込んだ携帯電話のメモリダイヤルリストを表示します。発信相手を選んでタッチし、ポップアップメニューから発信にタッチします。
発着信履歴	本機からの操作で発信した相手、または本機と接続中に着信した相手をリスト表示します。発信相手を選んでタッチします。

メモ

- 携帯電話本体を操作して発信することもできます。
- メモリダイヤルの読み込みや、その他のメニューについては、『ユーザーズガイド』をご覧ください。*(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)*

電話の受けかた

1 電話を着信したら、通話にタッチする

▼

通話が可能になり、通話中メニューが表示されます。

−/＋	受話音量を調整できます。
電話を切る	電話を切ります。
ハンズフリーOFF（ON）	ハンズフリー通話または携帯電話本体での通話の切り換えを行います。
閉じる	通話中メニューを閉じます。

メモ

- 受話音量の調整は、ナビゲーションの音量調整メニューで行うこともできます。→*P26の「ナビゲーションの音量を調整してみよう」*

ハンズフリー通話の受話音量について

ハンズフリー通話中の受話音量は、使用されている携帯電話の機種や、電話先の電話により大きく異なります。このため、エコーが気になる場合は、受話音量を下げてみてください。

ドライブレコーダーを使ってみよう

別売のドライブレコーダー「99000-79BM8-000（ND-DVR1347ZS）」（以降「連携ドライブレコーダー」と表記）を接続すると、本機を通して映像やメッセージの確認、および連携ドライブレコーダーの操作を行うことができます。

連携ドライブレコーダーの操作方法や内容については、連携ドライブレコーダーに付属の取扱説明書もご覧ください。

ドライブレコーダーリンク機能について

本機と連携ドライブレコーダーを接続すると以下のことが行えます。

- 接続状態画面で連携ドライブレコーダーの接続状況を確認できます。
- 録画時や静止画撮影時に、緯度経度・方位角・時速の情報を取得します。
- ナビゲーションのGPS機能を使って、自動的に年月日、時刻の情報を取得します。

また、本機のドライブレコーダーリンク機能をONにすると、以下の連携ドライブレコーダー機能を使うことができます。

- 連携ドライブレコーダー本体のボタンと同じ操作をタッチ操作で行えます。
- セキュリティモード中に振動を検出すると、ナビゲーション起動時に通知メッセージでお知らせします。
- イベント撮影（手動操作および衝撃検知時）にナビ画面およびAV画面にてメッセージを表示します。
- 連携ドライブレコーダーに異常が発生した場合にナビ画面およびAV画面にエラーコードを表示します。

メッセージ表示時の例
（セキュリティ検知時の通知）：

メモ

- 初めて本機と接続したときは、本機のGPS測位かセンサー学習完了までドライブレコーダーリンク機能が動作しないことがあります。
- 走行中はRECボタンのみ操作できます。連携ドライブレコーダーからの出力映像も表示されません。
- 緯度経度・方位角・時速の情報は撮影中の画面では確認できません。撮影後のファイルに表示されます。

ドライブレコーダーリンク機能を設定をする

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

2 ドライブレコーダー設定にタッチする

3 ONまたはOFFにタッチする

ON	ドライブレコーダーリンク機能を有効にします。
OFF	ドライブレコーダーリンク機能を無効にします。

▼

ドライブレコーダーリンク機能の設定が完了します。

メモ

- ドライブレコーダー設定をONにすると、AVメニュー画面のAUXがドライブレコーダーに切り換わります。

ドライブレコーダーの映像を表示する

1 メニューを押し、←AVにタッチする

2 ドライブレコーダーにタッチする

連携ドライブレコーダーの映像が表示されます。

画面にタッチすると、連携ドライブレコーダーを操作するためのタッチキーが表示されます。

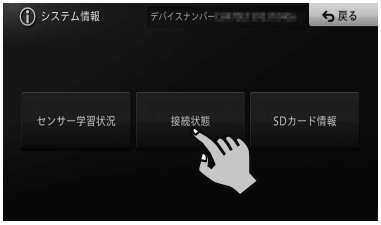
本機の画面で連携ドライブレコーダーを操作することができます。

接続状態を確認する

連携ドライブレコーダーの接続状態の確認を行います。

1 (メニュー)を押し、情報ーシステム情報にタッチする

2 接続状態にタッチする



3 次ページにタッチしてページを送り、オプション接続画面を表示する

メッセージ表示について

エラーコード	原因	対処
E001*	microSDカードの容量が足りません。	別のmicroSDカードに取り換えるか、microSDカードのフォーマットを行ってください。⇒*ドライブレコーダーに付属の『取扱説明書』* フォーマットすると、microSDカード内の全てのファイルが消失します。必ずバックアップを行ってください。
E002	microSDカードに不具合があります。	
E003	Gセンサーに不具合があります。	お買い上げの販売店にご相談ください。

* 連携ドライブレコーダー側の操作で、保護ファイルの上書き設定を「上書きする（通知なし）」に設定した場合は通知されません。⇒*連携ドライブレコーダーに付属の『取扱説明書』*

メモ

- エラー検知のタイミングによっては、メッセージと通知音が実際の症状と異なる可能性があります。また、複数のエラーが同時に発生した場合は、通知されないメッセージと通知音があります。
- 上記以外のメッセージ表示については、『ユーザーズガイド』または連携ドライブレコーダーに付属の『取扱説明書』をご覧ください。*（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*

ナビスタジオを使ってみよう

パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」をパソコンにダウンロードして、パソコンで作成したルートや地点の情報をSDカード経由で本機へ転送できます。また、録音データの編集やマップチャージ（地図更新）などもできます。

メモ

- ナビスタジオの全機能をご利用いただくには、お客様登録（→*P61*）が必要です。
- ナビスタジオを使用して全データ更新を行う場合には、16 GB以上のSDカードが必要です。
  - — 8 GBのSDカードを2枚使用することでも、全データ更新は可能です。
  - — お使いいただいているパソコンがSDHCカードおよびSDXCカードに対応していない場合には、SDHCカードおよびSDXCカードに対応したカードリーダー/ライターなどをご使用ください。
  - — ナビスタジオで取得したり編集した情報は、本機にSDカードを挿入すると自動的に本機に反映されます。
  - — 音楽CDの録音を開始すると反映は中断されますが、録音が終了すると自動的に再開されます。

動作環境について

下記の条件を満たしているパソコンにセットアップし、利用することができます。

OS	Microsoft® Windows® 7 Home Premium/ Professional/Ultimate（いずれもSP1以降） ※ 64 bit版では、32 bit互換モード（WOW64）で動作します。 ※ いずれも日本語版のみ対応	Microsoft® Windows® 8.1/Pro ※ Windows RTには対応しておりません。 ※ 64 bit版では、32 bit互換モード（WOW64）で動作します。 ※ いずれも日本語版のみ対応	Microsoft® Windows® 10 Home/Pro ※ 64 bit版では、32 bit互換モード（WOW64）で動作します。 ※ いずれも日本語版のみ対応
メモリ	32 bit版：1 GB以上 64 bit版：2 GB以上 （推奨値2 GB以上）		
CPU	1 GHz以上		
ハードディスク	100 MB以上の空き容量（地図データ更新時には約16 GBの空き容量が必要です。）		
ディスプレイ	解像度1 024x768・発色数16 bit（65 536色）以上		
その他	●インターネットに接続できる環境が必要です。 ●インストール時、使用時ともにシステム管理者（Administrator）権限が必要です。 ●初回ご利用時はナビゲーションにてSDカードの初期登録を行っていただく必要があります。 ●SDHCカードおよびSDXCカードを認識できる環境が必要です。お使いのパソコンがSDHCカードおよびSDXCカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください。		
注意事項	●上記の条件を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。 ●Macintoshには非対応です。 ●Windows® 8.1のModern UI design機能は非対応です。 ●OSのアップグレード環境での動作は保証していません。 ●マルチブート環境での動作は保証していません。 ●お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。 ●他のソフトウェアが同時に起動している場合はこの限りではありません。 ●パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用いただけないなどの不具合が発生する場合があります。その際の損失並びにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店などはその責任を負いません。 ●パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン購入元の各メーカー、または販売店にお願いします。		

メモ

- 最新のOSについてはhttp://pioneer.jp/support/dop/をご確認ください。

ナビスタジオのダウンロード・セットアップについて

下記URLにアクセスしてダウンロードし、表示される内容に従ってセットアップを行ってください。インターネット接続ができないパソコンの場合、セットアップができませんのでご注意ください。
http://pioneer.jp/car/navistudio/

メモ

- ナビスタジオの詳しいセットアップ方法は、『セットアップマニュアル』をご覧ください。『セットアップマニュアル』は、ナビスタジオと同じ上記URLでダウンロードできます。

SD カードを本機に登録する

本機とパソコン間でのデータ転送などは、SDカードを使って行います。使用できるSDカードは、本機に登録されたSDカードのみとなります。

1 ナビゲーション本体にSDカードを挿入する（→*P23*）

▼

本機をご購入後はじめてSDカードを挿入すると、SDカード登録確認メッセージが表示されます。

2 はいにタッチする

▼

挿入したSDカードが、ナビスタジオ用として本機に登録されます。

メモ

- いいえにタッチした場合は、登録が行われず、ナビスタジオ用としては使えません。

3 確認にタッチする

▼

SDカードを取り出し、パソコンにセットしてください。以降は『セットアップマニュアル』をご覧ください。

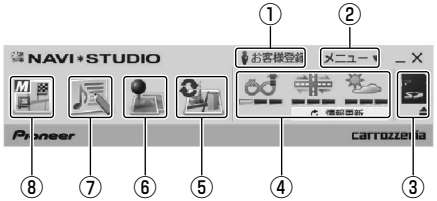
メモ

- SDカード登録確認メッセージは、一度登録が完了したあとは別のSDカードを挿入しても表示されません。はじめに登録したSDカードを別のものに変更したい場合は、システム設定メニュー（→*P32*）の「その他設定」－「SDカード登録確認メッセージ表示」をONに設定してください。
- あらかじめ、SDカードのライトプロテクト（書き込み防止）を解除してください。

ナビスタジオを使ってできること

ナビスタジオを起動するとランチャーが表示されます。ランチャー内の各アイコンをクリックするとアプリケーションが起動します。
各機能に関する詳しい説明は、ナビスタジオのオンラインヘルプをご覧ください。

ランチャー



① **お客様登録メニュー**
ナビスタジオセットアップ画面を表示して、お客様登録や各種セットアップができます。

② **メニュー**
機種選択や各種設定ができます。オンラインヘルプも、こちらからご覧いただけます。

③ **SDカード管理機能**
SDカードの取り出し、処理中断など、SDカードの動作管理ができます。

④ **情報更新メニュー**
プローブ情報のアップロードやスマートループ渋滞情報、ウェザーライブのダウンロードなどができます。

⑤ **アップデートマネージャー**
パソコン上で、地図データの更新、各種データのダウンロード、各種データの転送などのデータ管理ができます。

⑥ **メンテナンスマネージャー**
パソコン上で、登録地データの編集などのデータ編集ができます。

⑦ **MSVタイトルエディター**
（ナビスタジオ起動時に「MSVタイトルエディター 使用する」を選択した場合）
SDカードに録音した音楽ファイルのタイトルを専用サーバーのGracenoteデータベースから取得したり、書き換えることができます。また、SDカードに録音した楽曲の編集・削除もできます。

⑧ **MapFan Web forカロッツェリア**
パソコン上で、地図表示、目的地検索、ルート探索、ドライブプランの作成、地点登録・編集などのナビゲーション操作ができます。作成・登録・編集したデータをSDカードまたは専用サーバー経由で本機に転送し、利用できます。
ご利用には、スマートループの利用登録とMapFan会員IDの登録が必要です。

お客様登録（無料）をしよう

本機の通信機能やバージョンアップなど、本機をより便利で快適にお使いいただくためには、あらかじめお客様登録をしていただくことをお勧めします。お客様登録の方法はインターネットを利用した方法と本機の通信機能を使った方法の2通りあります。

メモ

- マイセットアップ（→*P15*）で「スマートループお試し登録」を行っていただいた場合は、お客様登録（無料）およびスマートループ設定の初期登録（→*P52*）をしなくてもスマートループ渋滞情報を期間限定で体験していただくことができます。体験期間終了後も引き続きスマートループ渋滞情報をご利用される場合や、本機の全機能をお使いになる場合は、お客様登録（無料）を行ってください。
- お客様登録は、バージョンアップやスマートループ機能と関係しています。本機を譲渡・転売する場合などは、お客様ご自身で退会手続きを行ってください。
- お客様登録では、ご希望のニックネームとパスワードを登録します。登録した内容はメモに残して忘れないようにしてください。

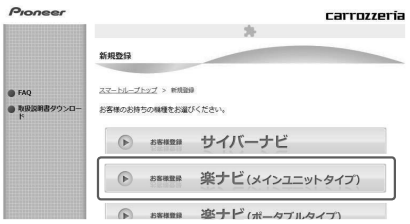
インターネットを利用して登録する

インターネットを利用して、自宅のパソコンなどからお客様登録およびスマートループ利用登録を行います。

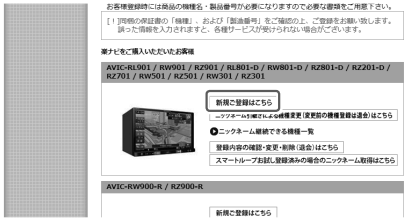
1 下記URLにアクセスして、「新規のご登録はこちら」をクリックする

https://www.smartloop.jp/smartloop/index.html

2 「楽ナビ（メインユニットタイプ）」をクリックする



3 下図のカテゴリー内にある「新規ご登録はこちら」をクリックする



4 約款を確認したら、「同意する」をクリックする

5 必要事項を入力する

6 下図の「上記に記載されていない機種はこちら」をクリックする

7 お使いの機種を選択する

8 「内容確認」をクリックする

9 入力内容が正しければ「登録」をクリックする

以上でお客様登録とスマートループ利用登録の設定は完了です。

メモ

- ナビスタジオのランチャー画面（→*P59*）から、お客様登録ページを表示させることもできます。
- ニックネーム、パスワードはバージョンアップ時に必要です。必ずメモに控え、保管してください。
- スマートループのご利用には、別途スマートループ設定が必要です。（→*P52*）

本機の通信機能を使って登録する

本機の通信機能を使用して、お客様登録とスマートループ利用登録を行います。

メモ

- 通信機能を使うには、お使いの携帯電話がBluetoothのDUN、またはPANプロファイルに対応している必要があります。
  また、PANの場合はNAP（Network Access Point）に対応している必要があります。
- あらかじめ本機に携帯電話を登録してください。（→*P22*）

1 メニューを押し、Smart Loopにタッチする

メモ

- AVメニューが表示されているときは、NAVI→にタッチしてください。

2 お客様メニュー－お客様登録にタッチする

3 新規登録にタッチする

4 約款を読んでから同意するにタッチする

▼

以降は、画面に従い必要な情報を順次入力します。

メモ

- 電話番号登録では、「-（ハイフン）」の入力は不要です。

5 終了にタッチする

▼

以上で、お客様登録は完了です。

メモ

- お客様登録が完了すると、自動的にスマートループ利用登録も完了し、利用期間が12ヶ月に設定されます。
- スマートループ利用登録期間は、必要に応じて変更してください。⇒『ユーザーズガイド』（*ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。*）
- スマートループのご利用には、別途スマートループ設定が必要です。（→*P52*）

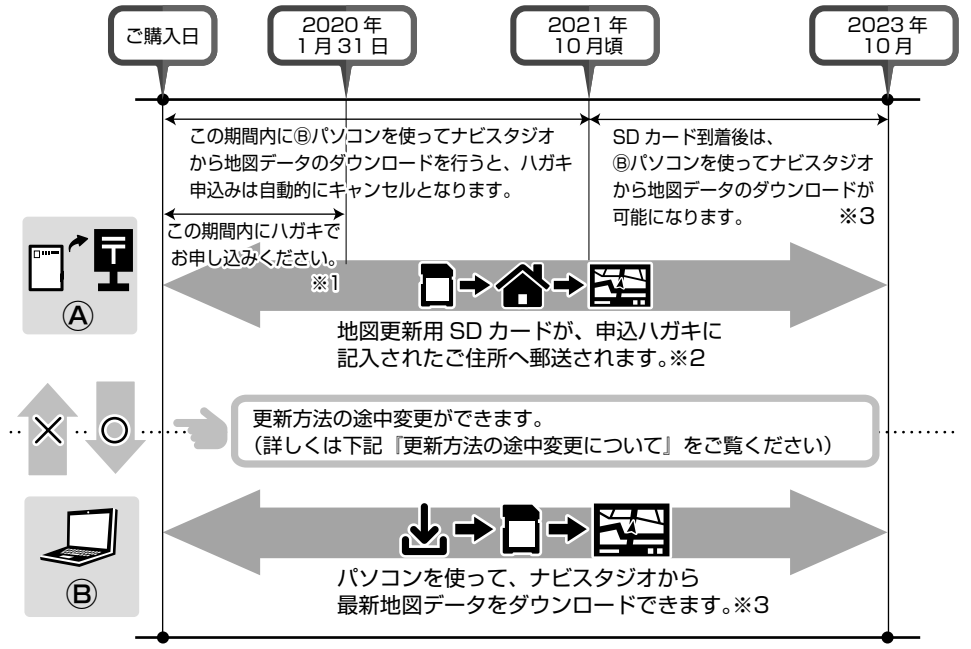
バージョンアップ（地図更新）をしてみよう

本機は、最大５年間（2018年７月～ 2023年10月）地図データを無償で更新することができます。

最新地図データの取得方法は、Ⓐ **ハガキ申し込みによる地図更新用SDカード送付サービス** または Ⓑ **パソコンを使ってナビスタジオから地図データのダウンロード**からお選びいただけます。

本サービスは、本機を新品購入されたお客様のみを対象にしています。

地図更新の流れ

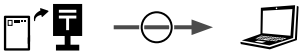


※1 申込期限は2020年1月31日（当日消印有効）です。

※2 地図更新用SDカード（2021年春版データ収録）の発送時期は2021年10月頃を予定していますが、諸般の事情で発送時期が多少遅れることがあります。

※3 ハガキ申し込みによる地図更新用SDカード送付サービスを希望される場合、地図更新用SDカードが到着(2021年10月頃を予定)するまでは、パソコンを使ったナビスタジオからの地図データのダウンロードはできません。
地図更新用SDカード到着後は、パソコンを使ってナビスタジオから地図データのダウンロードが可能になります。

更新方法の途中変更について



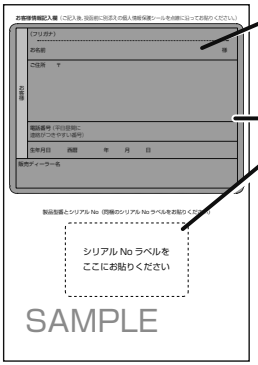
ハガキで申し込んだあとでも、パソコンを使ったナビスタジオからの地図データのダウンロードに変更できます。
変更すると、ハガキによる申込みは自動的にキャンセルされます。
その際、お客様にはご連絡いたしませんのでご了承ください。

パソコンを使ってナビスタジオから地図データのダウンロードをすると、ハガキでのお申込みには変更できません。

Ⓐ 地図更新用 SD カード送付サービスを申し込む

■ 申込ハガキを準備する

申込ハガキを記入する前に**「個人情報のお取り扱いについて」**（→*P66*）をお読みください。申込ハガキの到着をもって、ご同意いただいたものとみなします。



1. 必要事項を記入します
2. 必要事項に記入漏れが無いか確認します
3. 個人情報保護シールを貼り付けます
4. シリアルNoラベルを貼り付けます
5. シールやラベルの貼り忘れが無いか確認します
6. ポストに投函します
7. SDカードが申込ハガキに記入されたご住所に届きます（2021年10月頃の発送を予定しています。）

注意

- 申込ハガキに必要事項がすべて記入されていなかったり、シリアルNo ラベルが貼られていないと、SDカードが郵送されません。
- 申込ハガキは再発行できません。

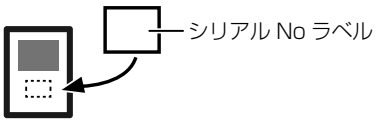
1 必要事項を記入する

2 必要事項に記入漏れがないか確認する

- □ お名前（フリガナ）
- □ ご住所
- □ 電話番号
- □ 生年月日
- □ 販売ディーラー名

3 個人情報保護シールを貼り付ける

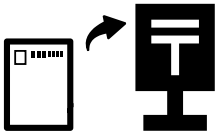
4 シリアルNoラベルを貼り付ける



5 シールやラベルの貼り忘れがないか確認する

- □ 個人情報保護シールを必要事項の上に貼り付けていますか？
- □ シリアル No ラベルを規定の位置に貼り付けていますか？

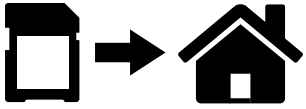
6 ポストに投函する



登録情報や更新方法を変更したいときは**「こんなときは」**（→*P67*）をご覧ください。お申込み状況の照会サービスは行っておりません。

▼

SDカードが申込ハガキに記入されたご住所に届きます。



発送時期は**2021年10月頃**を予定しています。

メモ

- SDカード到着後は、パソコンを使ってナビスタジオから地図データのダウンロードも可能です。

Ⓑ ナビスタジオで地図データをダウンロードする

パソコンを使って、ナビスタジオのアップデートマネージャーで地図データをダウンロードできます。
事前にお客様登録（→*P61*）を行ってください。

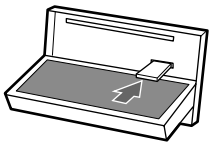
1 ナビスタジオをダウンロードし、パソコンにインストールする

下記URLにアクセスしてください。インターネット接続ができないパソコンの場合、セットアップができませんのでご注意ください。
http://pioneer.jp/car/navistudio/

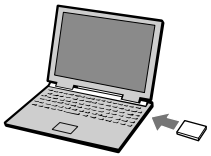
メモ

- ナビスタジオの詳しいセットアップ方法は、『セットアップマニュアル』をご覧ください。『セットアップマニュアル』は、ナビスタジオと同じ上記URLでダウンロードできます。

2 SDカードをナビゲーションに挿入し、ナビスタジオ用として登録する（→*P59*）



3 ナビスタジオ用として登録したSDカードをパソコンにセットする



ナビスタジオが自動起動します。お客様登録時に取得したニックネームとパスワードを入力してください。

メモ

- 自動起動しない場合は、デスクトップのナビスタジオのアイコンをダブルクリックしてください。
- パソコンがSDHCおよびSDXCカードに対応していない場合は、SDHCおよびSDXCカード対応のカードリーダーを準備してください。

4 アップデートマネージャーを起動し、「開始」ボタンをクリックして更新データをダウンロードする

メモ

- 全データ更新の場合は、「詳細情報を表示▼」からダウンロード予約が必要です。
- 全データ更新は年2回、地点情報データの更新および道路データの更新は毎月を予定しています。（整備スケジュールの都合上、更新対象がない月もあります。）

5 ダウンロードした更新データをSDカードへ転送する

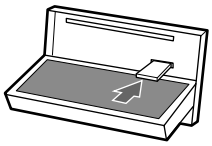
SDカードの容量が16GBの場合は、ダウンロード完了後、自動的に転送が開始されます。SDカードの容量が8GBの場合は、画面に表示されるメッセージに従い、手動で転送を行ってください。

バージョンアップする

SDカードを本機に挿入する前に、**「地図更新後に初期化される内容」（→*P66*）をご確認ください。**

1 SDカードをナビゲーションに挿入する（→*P23*）

郵送されたSDカードまたはダウンロードした地図データが保存されたSDカードをナビゲーションに挿入します。



2 ナビゲーションに表示されるメッセージに従い、バージョンアップする

メモ

- 地点情報データの更新／道路データの更新の場合、バージョンアップ中もナビゲーションを利用できます。全データ更新の場合、バージョンアップ中はナビゲーションを利用できません。

地図更新に関する注意事項

メモ

- 地図更新中に本機の電源をOFFにした（エンジンを切った）場合、電源をONにしたときに続きから更新を再開します。
- 更新データによっては、メッセージが表示されます。画面に従って操作してください。
- 地図更新中は、更新中アイコン（*→34「画面下部に表示されるアイコンについて」*）が表示されることがあります。更新中は一部のAVソースが使用できません。更新が完了するまでお待ちください。

個人情報のお取り扱いについて

ハガキによる申込みを行う場合は、以下に記載する個人情報のお取り扱いについてご確認・同意いただいた上で申込ハガキをご送付ください。

（1）個人情報保護方針
お客様から収集する個人情報は、パイオニア株式会社が定める個人情報保護方針に則って厳重に管理します。
個人情報保護方針
（http://pioneer.jp/privacy/）

（2）個人情報の利用目的
お客様の個人情報は地図SDカード送付業務対応のみに利用させていただきます。

（3）個人情報の第三者提供について
個人情報のデータ処理を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示、提供いたしません。

（4）個人情報の取り扱いの委託について
取得した個人情報につきましてはユーザーデータ登録処理業務を協力会社へ委託する場合があります。

（5）開示対象個人情報の開示等及び問合せについて
ご本人からのお申し出により、申込ハガキにより取得した個人情報の利用の停止に応じます。お申し出いただいたお客様がご本人であることを確認させていただいた上で、合理的な期間及び範囲で対応させていただきます。利用停止に応じる窓口につきましては「パイオニア地図SDカード送付窓口」（*→P67*）をご参照ください。

地図更新後に初期化される内容

地図更新後は、次の内容が初期化されます。必要に応じて再設定または再取得してください。

■再設定または再取得が可能なもの

- 案内中のルート *→P37「目的地を探してルート案内してみよう」*
- 天気予報 *→P34「画面下部に表示されるアイコンについて」*
- メモリダイヤル *→P55「電話のかけかた」*
- ロゴマーク表示 *⇒『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）」*

■データを失うもの

- 名称検索の最近探したワード *→P30「■ NAVI メニュー」*
- 走行軌跡の一部 *→P34「現在地画面の見かた」*
- 発着信履歴 *→P55「電話のかけかた」*

地図更新全般について不明な点がございましたら販売店までご相談ください。

■登録情報を変更したい

ハガキによる申込みをしたあと、引越し等をして登録情報を変更したいときは、郵便ハガキに以下の情報をすべてご記入いただき、弊社指定の送付先住所までお送りください。（ハガキ送付費用はお客様のご負担になります。）

表面

〒350-8555

埼玉県川越市山田 25-1

パイオニア株式会社

OEM 事業部
2018 年モデル純正カーナビゲーション
地図更新用 SD カード送付窓口 (s)　行

裏面

1 **「登録情報変更希望」**
2 **お名前（フリガナ）**
※名字に変更がある場合は旧姓、新姓の両方の名字をご記入ください。
3 **お届け先　郵便番号**
4 **お届け先　住所**
※郵便番号、住所に変更がある場合は旧⇒新の両方の住所をご記入ください。
5 **電話番号**
※平日の昼間に連絡がつきやすい番号をご記入ください。
6 **生年月日**
7 **製品型番と製造番号**
※製品型番は同梱の保証書の品番のところに記載されているAVIC- で始まる番号をお書きください。

注意

- お電話、メールなどでのご変更のご依頼は承っておりません。
- お申込み状況の照会サービスは行っておりません。
- 登録情報の変更は本機を新品購入されたお客様のみを対象としています。

■ハガキによる申込みについてお問い合わせをしたい

「ハガキによる申込み」に関する次の内容については、下記の窓口へお問い合わせください。

- 個人情報の利用停止をしたい
- SDカードが届かない

お問合せ先：　パイオニア地図SDカード送付窓口
受付時間：　月曜～土曜9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00
（日曜、祝日、当社休業日を除く）
固定電話から：0120-032-527（無料）
携帯電話・PHSから：0570-037-629（ナビダイヤル・有料）
上記の電話番号がご利用いただけない場合：050-3820-7545（IP電話・有料）

■ハガキによる申込み状況を照会したい

お申込み状況の照会サービスは行っておりません。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは*P83の「保証書とアフターサービス」*をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目		
症状	原因	処置
電源が入らない、動作しない。	エンジンがかかっていない。	エンジンまたはACCをONにしてください。
	周囲の温度が極度に低いまたは高い。	本機には、使用温度範囲（→*P83*）があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
画面に何も表示されない。	ナビスタンバイ状態になっている。	画面にタッチして、ナビスタンバイを解除してください。
画質調整ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある 。	液晶特有の現象で、故障ではありません 。	—
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	周囲の温度が極端に低い。	周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
バッテリー交換後、本機を起動したらパスワード入力画面になっている。	セキュリティロックが動作している。	設定したパスワードを入力して、ロックを解除してください。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーである。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
	設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーである。	本書やユーザーズガイドで設定や接続状態を確認してください。*（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*
自車位置を測位できない。	GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。
測位誤差が大きい。	3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして、学習をやり直してください。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*
自車位置が正しくない。	自車位置がずれている。	GPS測位が可能な状態で、しばらく走行すると自車位置が修正されます。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*
走行を開始しても地図が動かない。	現在地画面を表示していない。	現在地を押して、現在地画面にしてください。
地図の向きが変わらない（自車マークが上でない方向に向かう）。	地図の向きがノースアップになっている。	地図の向きをヘディングアップに変更してください。→*P36の「地図の向きを変える」*
ナビゲーションの案内音声が出ない。	ナビゲーションの音量設定が0になっている。	ナビゲーションの音量設定を調整してください。→*P26の「ナビゲーションの音量を調整してみよう」*
地図上にVICS情報が表示されない。	受信したVICS情報が表示されるまで数分かかることがある。	表示されるまで、お待ちください。
	VICSの受信感度が良くない。	放送局を最も受信感度の良い放送局に変更してください。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*

オーディオ共通項目

症状	原因	処置
テレビやDVDなどの映像が見られない。	走行中である。	本機は、安全のため走行中にテレビやDVDなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
音声案内時やハンズフリー通話の着信時に、一時的にオーディオの音がとぎれたり、聞こえづらくなる。	消音設定がされている。	消音するタイミングや消音レベルを調整してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)
前／後／左／右のスピーカーから音が出ない。	前後左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整·設定してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)
音量が勝手に下がってしまう。	アイドリングアッテネーター設定が「ON」に設定されている。	アイドリングアッテネーター設定を「OFF」に設定してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)
FMは受信するが、AMが受信できない。 受信感度が悪い。	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。→P81の「DVDに表示されているマークの意味」
	ファイナライズされていないディスクを挿入している。	ファイナライズされたディスクを挿入してください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合がある。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルを変更してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

症状	原因	処置
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。（ディスクによって入っている場合がある。）	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。（故障ではありません。）
⃠（禁止マーク）が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作である。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	□にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM（WMA/MP3/AAC）

症状	原因	処置
CDの再生開始に時間がかかる（本機起動直後など）。	オート録音モード設定が「ON」でSDカードが挿入されていない。	ソース別設定のMSV/SD設定（*→P46*）で、オート録音モード設定を「OFF」に設定してください。
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください（WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください）。
聴きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合がある。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

音楽 CD の録音・MSV

症状	原因	処置
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*
録音したCDが「CD-日付 時刻」で表示されている。	タイトルが複数候補あったかタイトル情報が本機に収録されていない。	タイトルの取得を行ってください。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*
録音、マイミックスへの追加ができない。	低温のため、SDカードへのアクセスができない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
	録音・マイミックスの制御データが破損している。	「録音データ全消去」を行って、操作し直してください。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*

症状	原因	処置
録音した楽曲を再生できない。 マイミックス再生できない。	SDカードのライトプロテクトスイッチがロックされている。	ライトプロテクトスイッチを解除してください。
	録音・マイミックスの制御データが破損している。	「録音データ全消去」を行って、操作し直してください。⇒*『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)*

地上デジタルテレビ／ワンセグテレビ

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときや「視聴者設定クリア」をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。 *→P21の「テレビを見るための準備をしよう」*
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局（チャンネル）に切り換えてください。エリアプリセットで受信中は、受信可能な中継局を自動的に探して切り換えることができます。⇒*『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)*
	放送局（チャンネル）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。*→P21の「テレビを見るための準備をしよう」*
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
	車両に電波シールドガラスが使われている。	外付けの地上デジタルテレビ用アンテナを使用してください。
メッセージが表示され、視聴ができない。	本機が対応しない放送を視聴しようとしている。	以下の放送には対応していません。 ・番組単位で購入できる有料放送（ペイ・パー・ビュー） ・双方向通信を使うデータ放送 対応している放送に切り換えてください。
データ放送画面に切り換えられない。 映像切換、音声切換、字幕切換、音声多重のタッチキーが薄く表示されていて、切り換えられない。	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。

SD/USB

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルにしてください。
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAVファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	SDカード内に保存されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルの位置が正しくない。	SDカード内の正しい位置に移動させてください。*→P81の「SDカードに関するご注意」*
SDカードに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。

症状	原因	処置
SDカードに保存したファイルを再生中にAVソースがOFFになる。	地図データ（差分情報のみ）の更新中である。	地図データ（差分情報）更新中は、AVソースがOFFになります。地図データ（差分情報のみ）の更新完了後、再度AVソースを選択し、再生を再開してください。
お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL：https://www.sdcard.org/jp/home.html

iPod		
症状	原因	処置
接続できない。	お使いのiPodが本機に対応していない。	対応iPodについては、http://pioneer.jp/support/dop/でご確認ください。
ビデオが再生できない。	接続しているiPodがビデオ機能に対応していない。	ビデオ機能に対応したiPodでないと、ビデオはご覧になれません。
	接続したiPodとの認証に失敗した。	再度、接続して認証を行ってください。

Bluetooth Audio		
症状	原因	処置
再生できない。	Bluetooth機器登録をしていない。	Bluetooth Audioをお使いになるには、Bluetooth機器を本機に機器登録する必要があります。→*P22の「携帯電話を登録しよう」*
	登録したBluetooth機器の設定がハンズフリー電話機能のみを使用する設定になっている。	Bluetooth Audioとして使用する設定に変更してください。⇒*『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP10をご覧ください。)*
リピートやランダム再生ができない。	Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver1.0以下である。	プロファイルによって操作できる機能や表示される内容に制限があります。⇒*『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP10をご覧ください。)*

Bluetooth		
症状	原因	処置
Bluetoothを使って携帯電話と接続できない。	Bluetooth機器登録をしていない。	接続したい携帯電話を本機に機器登録してください。→*P22の「携帯電話を登録しよう」*
	接続していた携帯電話を別の携帯電話に変えた。	変えた携帯電話を本機に登録するか、登録済みの携帯電話に変えた場合は携帯電話の切り換え操作を行ってください。
ハンズフリー通話時に、通話相手側のエコー（残響音）が大きく聞こえる。	通話相手の声（スピーカーからの音声）がマイクに入り込んでいる。	エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生するため、受話音量を小さくすることで改善できます。ただし、本機のしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞きとりにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。

エラーメッセージと対処方法

走行開始後		
メッセージ	原因	処置
車速信号線が外れました。接続を確認してください。		お買上げの販売店にご相談ください。
車速パルス信号が異常です。接続を確認してください。		
3Dハイブリッドセンサーが正常に動作していません。本体の取り付け角度や向きを確認してください。取り付けが正常な場合は、お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。	内蔵センサーの故障が考えられます。	
車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。		

共通項目		
メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行規制のかかった操作を行おうとした。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
ロック解除に失敗しました。	パスワードが間違っている可能性があります。	パスワードを再確認して、もう一度操作してください。
スピーカーの配線、または本機に異常を検出しました。 本機の電源を入れ直しても復帰しない場合は、お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。エンジンスイッチをOFF→ONしてもメッセージが消えない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

ナビゲーション		
メッセージ	原因	処置
探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
付近にルート探索対象道路がありません。		
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。		
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。		
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。		
行き先または出発地付近にルート探索対象道路がないため探索できませんでした。		
日時データがないため、このルートは時間規制や渋滞予測情報を考慮していません。	GPS衛星からの電波が受信できていない。	本機の日時データはGPS衛星からのデータに基づいています。GPS衛星からの電波を受信しやすい環境に移動してください。⇒*『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP10をご覧ください。)*
自車位置修正できませんでした。	自車位置を修正できる道路が周囲に見つからない。	周囲に自車位置修正可能な道路（一般道路と有料道路が並行しているような道路）を走行時に操作してください。

渋滞情報		
メッセージ	原因	処置
スマートループ渋滞情報が取得できませんでした。	スマートループ渋滞情報を取得できていない。	時間や場所をずらしてから、再度受信してください。

通信		
メッセージ	原因	処置
回線の接続に失敗しました。	何らかの原因で回線接続に失敗している。	しばらくしてから再度操作するか、本機を再起動してください。
サーバーへの接続に失敗しました。	何らかの原因により通信接続を切断（タイムアウト）した。	
データ通信タイムアウトが発生しました。		
データ通信エラーが発生しました。		
通信機器が接続されていません。	携帯電話が接続されていない。	携帯電話を接続してください。
通信機器が使用できません。	接続中の通信機器が故障している可能性がある。	他の通信機能が利用可能かお試しください。他の通信機能も利用できない場合は、通信機器を変更するか、修理してください。

Bluetooth		
メッセージ	原因	処置
携帯電話が接続されていません。	携帯電話が接続されていない。	携帯電話を接続してください。
携帯電話との接続に失敗しました。	何らかの原因により携帯電話との接続が失敗している。	ナビゲーションを操作して、携帯電話を接続してください。
携帯電話が使用できません。	本機の通信機能を利用するために接続中の携帯電話がDUN（ダイヤルアップネットワーク）、またはPAN（パーソナルエリアネットワーク）に非対応または、携帯電話を待ち受け画面にしないとDUN通信、またはPAN通信が利用できない機種の可能性がある。	接続中の携帯電話のDUN、PAN対応状況をお調べいただくか、携帯電話を待ち受け画面にしてください。
現在接続はできません。	接続しようとしているBluetooth機器が、データ通信中である。	データ通信終了後、再度操作してください。
現在削除はできません。	使用中のBluetooth機器を削除しようとした。	Bluetooth機器の使用を中止してから、削除してください。

SD カード		
メッセージ	原因	処置
このSDカードは本機では使用できません。	本機で使用できないSDカードを挿入した。	本機が対応するSDカードをご確認ください。→*P83の「仕様」*
	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL: https://www.sdcard.org/jp/home.html
録音したCDが「CD-日付 時刻」で表示されている。	タイトルが複数候補あったかタイトル情報が本機に収録されていない。	タイトルの取得を行ってください。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*
録音、マイミックスへの追加ができない。	低温のため、SDカードへのアクセスができない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
	録音・マイミックスの制御データが破損している。	「録音データ全消去」を行って、操作し直してください。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。）*

メッセージ	原因	処置
録音した楽曲を再生できない。 マイミックス再生できない。	SDカードのライトプロテクトスイッチがロックされている。	ライトプロテクトスイッチを解除してください。
	録音・マイミックスの制御データが破損している。	「録音データ全消去」を行って、操作し直してください。⇒*『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP10をご覧ください。)*

USB

メッセージ	原因	処置
このUSBメモリーは本機では使用できません。	本機で使用できないUSBメモリーを接続した。	本機が対応するUSBメモリーをご確認ください。→*P83の「仕様」*
	USBメモリーを2本同時に接続した。	本機が認識できるUSBメモリーは1本のみです。2本のうちどちらかを外し、残った1本をもう一度接続し直してください。

携帯電話

メッセージ	原因	処置
読み込みができませんでした。 接続を確認してもう一度やり直してください。	電話帳転送を行うために接続中の携帯電話に、メールアドレスや電話番号が登録されているメモリダイヤルが存在しない。	携帯電話のメモリダイヤルを確認してください。

音楽ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
このCDは録音できません。	コピー禁止のディスクから録音しようとしている。	録音可能なディスクに交換してください。
録音再生エラーが発生しました。 CDの通常再生に切り換えます。	何らかの原因で録音ができないとき。	ディスクに汚れやキズ・そりがないか確認してください。
録音曲数の制限を超えたため、これ以上は録音できません。 アルバム数が上限に達しているため、これ以上録音できません。	SDカードに保存した録音データやパソコンから取り込んだ楽曲データが上限に達している。(トラック5 000曲、アルバム300件まで)	聴かなくなった録音済みデータやパソコンからコピーしたMP3ファイルなどを削除してください。
録音中は再生できません。	CD録音中にMSV/SDソースの映像再生をしようとした。	録音中はMSV/SDソースの映像再生ができません。録音が終了するのを待つか、録音を中止してから操作してください。⇒*『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP10をご覧ください。)*
・再生できないディスクです。 ・再生できません。 ・ディスクを取り出してください。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→*P81の「再生できないディスクについて」*
	ディスクが極端に汚れている。 ディスクにキズやそりがある。	ディスクに汚れやキズ・そりがないか確認してください。
	ディスクの表裏が逆になっている。	ディスクのレーベル面を上にして、セットしてください。

映像ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。

メッセージ	原因	処置
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機のリージョン番号は“2”です。ディスクのパッケージなどでリージョンコード“2”を含むディスクに交換してください。 *→P81の「DVDに表示されているマークの意味」*
・再生できないディスクです。 ・再生できません。 ・ディスクを取り出してください。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。*→P81の「再生できないディスクについて」*
	ディスクが極端に汚れている。 ディスクにキズやそりがある。	ディスクに汚れやキズ・そりがないか確認してください。
	ディスクの表裏が逆になっている。	ディスクのレーベル面を上にして、セットしてください。

音楽 CD の録音・MSV

メッセージ	原因	処置
・MSVで使用するSDカードの容量が不足しています。この操作を行うには、30 MB以上の空き容量が必要です。SDカード内のデータを整理し、空き容量を確保してください。 ・MSVで使用するSDカードの容量が不足しているため、楽曲編集データを反映できません。SDカード内のデータを整理し、30 MB以上の空き容量を確保してください。	SDカードの残容量が足りない。	聴かなくなった録音済みデータやパソコンからコピーしたMP3ファイルなどを削除してください。
SDカード容量不足のため、録音できません。	SDカードの残容量が足りないため、録音できない。	十分な空き容量のあるSDカードを使用してください。
アルバム数が上限に達しているため、これ以上録音できません。	SDカードに保存した録音データやパソコンから取り込んだ楽曲データが上限に達している。（トラック5 000曲、アルバム300件まで）	聴かなくなった録音済みデータやパソコンからコピーしたMP3ファイルなどを削除してください。
録音曲数の制限を超えたため、これ以上は録音できません。		
SDカード内でエラーが発生したため、MSV、マイミックスは使用できません。消去メニューから［録音データ全消去］を行ってください。	録音・マイミックスの制御データが破損している。	「録音データ全消去」を行ってください。⇒*『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP10をご覧ください。）*

iPod

メッセージ	原因	処置
iPodの接続に失敗しました。 接続し直してください。	何らかの原因で本機とiPodの間の認証が失敗した可能性がある。	エンジンスイッチをOFF/ONし、一度iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再接続してください。

地上デジタルテレビ／ワンセグテレビ

メッセージ	原因	処置
DTVで高温を検出しました。 保護のため停止中です。	内部温度が高くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。
サービスが登録されていません。 電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	電波状況の良い場所で、チャンネルスキャンを行ってください。*→P21の「テレビを見るための準備をしよう」*
地デジ視聴準備中（EC21）	地デジ（12セグ）の視聴のため、放送波からの情報を取得中です。	安定して地デジ（12セグ）が受信できるような電波状態の良い場所でしばらくお待ちください。
受信できません（EC22）	電波状態が悪いなどにより、番組を視聴できない。	電波状態の良い場所に移動してから、選局し直してください。
受信できません（EC23）	放送されたデータが正しくないため、番組を視聴できない。	ご覧の放送局へお問い合わせください。その際、「エラーコード：EC23」をお伝えいただくとスムーズです。

メッセージ	原因	処置
同時間帯に既に予約が設定されています。	他の番組を予約した時間帯に別の番組を予約しようとしている。	同じ時間帯に重複して予約することはできません。
これ以上予約を設定できません。不要な予約を消去してください。	可能予約数を超える予約を行おうとしている。	予約可能数は100件までです。必要がなくなった予約などを消去してください。⇒*『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP10をご覧ください。)*
アンテナ接続エラーの可能性があります。	地上デジタルTVのアンテナに不具合がある。	お買上げの販売店にご相談ください。

Bluetooth Audio

メッセージ	原因	処置
接続対象機器が未設定のため、操作できません。	Bluetooth機器を登録していない。	接続対象機器を切り換えるか、Bluetooth Audioの機器登録を行ってください。⇒*『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP10をご覧ください。)*
AV機器との接続に失敗しました。	Bluetooth機器の電源またはBluetooth機能が「オフ」になっている。	Bluetooth機器の電源またはBluetooth機能を「オン」にしてください。

SD/USB

メッセージ	原因	処置
再生できませんでした。	本機で再生できないファイル形式のデータを再生しようとしている。	本機で再生可能なファイル形式のデータで再生してください。→*P50の「再生できるファイルとメディアの種類」*

その他

メッセージ	原因	処置
測位不能になりました。お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。	ナビゲーション本体の故障、劣化等が考えられます。	お買上げの販売店にご相談ください。
GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。	GPSアンテナの接続を確認してください。正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。	
GPSアンテナが異常です。お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。		
内蔵のセンサーが異常です。お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。	内蔵のセンサーの故障が考えられます。	
取付け位置の変化を検出しました。センサーの再学習を開始します。		本機の取付け位置の変化を自動で検出した事をお知らせするメッセージです。

NaviConを使ってみよう

iPhoneまたはスマートフォン（Android™）用アプリ「NaviCon」で設定した目的地や登録地を、本機に転送することができます。

メモ

- NaviConは、iPhoneおよびスマートフォン（Android™）に対応しています。対応するiPhoneおよびスマートフォン（Android™）の詳細については、NaviConホームページの「対応スマートフォン」でご確認ください。<https://navicon.com/user/support/>
- 本機にiPhoneをUSB接続している場合は、NaviConを利用することができません。USBを取り外して、操作を行ってください。
- NaviConのバージョンアップにより、実際の機能が本マニュアルに記載された内容と異なる場合があります。

1 iPhoneまたはスマートフォン（Android™）を本機にBluetooth機器として登録する

詳しくは『ユーザーズガイド』の「Bluetooth機器を登録する」をご覧ください。

2 iPhoneをお使いの場合はAppStoreから、スマートフォン（Android™）をお使いの場合はGoogle PlayからNaviConをダウンロードし、インストールする

インストール方法はこちらをご覧ください。

NaviConサポートサイト：

＜http://navicon.com/＞

3 本機とiPhoneまたはスマートフォン（Android™）をBluetooth接続する

4 iPhoneまたはスマートフォン（Android™）を操作してNaviConを起動し、地図画面を表示する

▼

本機と自動で接続され、NaviConで表示された地図と同じ位置の地図が本機に表示されます。

5 NaviConで、目的地や立寄地を設定する

▼

本機に目的地や立寄地が送信され、ルートが自動的に探索されます。

メモ

- スマートフォン（Android™）ではじめてNaviConを起動したときは接続先設定画面が表示されます。その場合は本機を選択してください。
- 地図スクロールや表示スケールの変更も連動します。
- iPhoneまたはスマートフォン（Android™）から新たに目的地を送信すると、表示されている探索結果はキャンセルされ、新しいルートが探索されます。
- NaviConで複数の目的地を設定し本機に送信すると、本機では最後の地点が目的地に設定されます。また、地点の番号順に立ち寄り地が設定されます。
- NaviConを操作しても本機に反映されない場合は、次の処置を行ってください。
  - Bluetooth設定の接続設定で、お使いのiPhoneまたはスマートフォン（Android™）のNaviCon連携をONにする。詳しくは『ユーザーズガイド』の「Bluetooth機器を登録する」をご覧ください。
  - USB接続ケーブルに接続されている機器を外す。

バッテリー端子を外した場合の再設定について

車検・整備等でバッテリー端子を外した場合、オーディオ設定 *(→P49)* の内容や各AVソースの設定 *(→P46)*、モニターの画質調整結果 *(→P25)* が工場出荷状態に戻っている場合があります。

AUX 設定のしかた

必ずエンジンをかけた状態で行ってください。

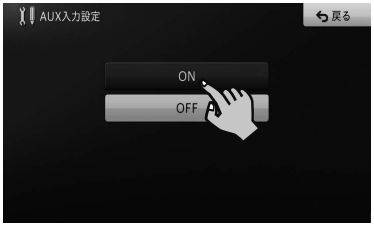
1 (メニュー) を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **ソース別設定** にタッチする

3 **AUX設定** にタッチする

4 **入力設定** にタッチする

5 **ON** にタッチする



付録

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

■取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出ることがあります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。→*P83の「仕様」*
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- 携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナを液晶画面に近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

■液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

■LEDバックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。
- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

■お手入れについて

- 液晶画面に付いたほこりや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

■取り扱い上のご注意

- ディスクは、信号記録面（虹色に光っている面）を触らないように持ってください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクにシールなどを貼らないでください。
- ディスクに市販のラベルなどを貼り付けないでください。
  - ― ディスクにそりが生じて、再生できなくなる原因になります。
  - ― 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。

メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

■お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

■保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。
  - ― 直射日光や高温など、車内での保管状況により、ディスクは再生できなくなる場合があります。
- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

■ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

■使用できないディスクについて

以下のようなディスクは使用しないでください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。表紙に記載されているマークが付いたディスクをお使いください。マークは、ディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに記録されています。

- ―DualDisc
- ―8 cmディスク（アダプター装着時も含む）
- ―CD規格外ディスク
- ―ひび、キズ、そりのあるCD

- ―特殊形状のディスク

- ―シールなどを貼ったディスク

■再生できないディスクについて

以下のようなディスクは、再生できないことがあります。

- ―音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したディスク
- ―ファイナライズされていないディスク
- ―パケットライトで記録されたディスク
- ―ハイビジョン画質（AVCHD/AVCREC規格）で記録されたディスク
- ―NTSC（日本のテレビ方式）以外の方式で記録されたDVD
- ―リージョン番号が「2」や「ALL」以外のDVD
- ―レイヤージャンプレコーディング方式で記録されたDVD
- ―DVD-ROM/RAMディスク
- ―ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠していないCD-R/RW/ROMディスク
- ―UDF1.02およびISO9660のレベル1、レベル2に準拠していないDVD-R/RW/ROMディスク

■DVDに表示されているマークの意味

DVDビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
②))	音声の数を表します。
2	字幕の数を表します。
3	アングルの数を表します。
16:9 LB	画面サイズ（アスペクト比：横と縦 の比率）の種類を表します。
2 / ALL	再生可能な地域番号（リージョン番号）を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。

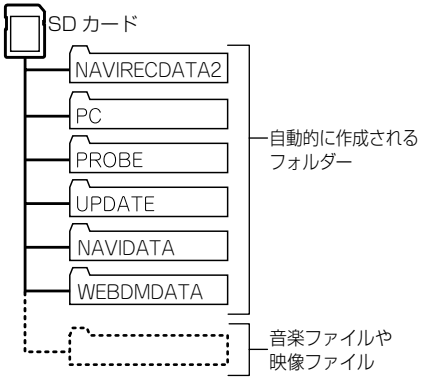
■DVD-VRについて

以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

SD カードに関するご注意

- 本機またはナビスタジオで使用したSDカードには、以下のフォルダーが自動的に作成される場合があります。



- 上記のフォルダーの内容は変更しないでください。SDカードに音楽ファイルや映像ファイルを保存して本機で再生する場合は、上記のフォルダー以外に保存してください。

USB 機器に関するご注意

- USB機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーやUSBメモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB機器は必ず固定してください。USB機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■本機との接続について

- USBメモリー、USBオーディオプレーヤー以外（USB扇風機など）は接続しないでください。
- USB機器を本機に接続する際は、指定のUSB接続ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続するUSB機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USBハブを使用しての接続には対応していません。

■保管上のご注意

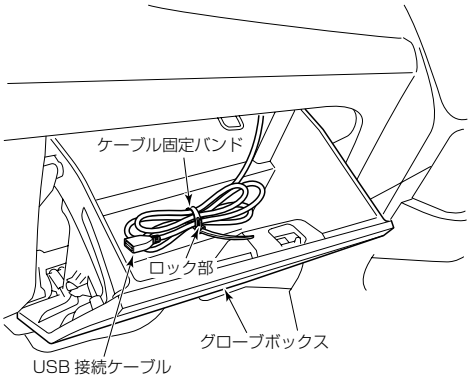
USB機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

■USB接続ケーブルなどの取扱い方法

グローブボックス内に収納されているUSB接続ケーブルなどは、ケーブル固定バンドを使用して使いやすい長さに調整してお使いください。

メモ

- ケーブル固定バンドはロック部を押すとゆるめることができます。
- 純正またはオプションのUSBソケットをご利用の場合は、ナビゲーションに同梱されているUSB接続ケーブルはグローブボックス内に取り付けられておりません。



iPod に関するご注意

■取り扱い上のご注意

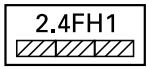
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

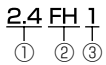
■著作権について

iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
  - ＊ 分解/改造すること。
  - ＊ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
  - ＊ 無線LANを利用したAV機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声がとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
  - ＊ 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
  - ＊ 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
  - ＊ マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  - ＊ 自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
  - ＊ 自動制御機器・その他、Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通網システム）
  - ＊ アマチュア無線局など





① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します。
② 「FH」変調方式を表します。
③ 「1」想定される与干渉距離（約10 m）を表します。

付録

保証書とアフターサービス

保証書

ご購入の販売会社にて必ず、保証書をお受け取りいただき、保管いただくようお願いいたします。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お取り付けした日から3年間（期間内でも走行距離が6万km まで）
製造元の保証書（保証期間1年間）が同梱されている場合は、販売店が別途定める保証期間に準じます。

修理について

修理のご依頼や、取り扱い・お手入れ、その他のお問い合わせなどは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はお買い上げの販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

仕様

共通部

使用電圧：.....DC14.4 V
（10.8 V～15.1 V使用可能）
最大消費電流：.....10 A
アース方式：.....マイナスアース方式
使用温度範囲：.....−10 ℃ ～ + 60 ℃

GPS部

受信方式：.....12 チャンネルマルチチャンネル受信方式

オーディオ部

最大出力：.....50 W × 4
負荷インピーダンス：.....4 Ω（4 Ω～8 Ω使用可能）
プリアウト最大出力レベル：2.2 V
13 バンドグラフィックイコライザー：
　周波数：.....50 Hz/80 Hz/125 Hz/200 Hz/315 Hz/500 Hz/800 Hz/1.25 kHz/2 kHz/3.15 kHz/5 kHz/8 kHz/12.5 kHz
　調整幅：.....± 12 dB（2 dB/step）
スピーカーセッティング：
　調整幅：.....−24dB～+10dB(1dB/step)
カットオフ周波数：
　ハイパスフィルター：50 Hz/63 Hz/80 Hz/100 Hz/ 125 Hz
　ローパスフィルター（サブウーファー）：50 Hz/63 Hz/80 Hz/100 Hz/125 Hz/160 Hz/200 Hz
カットオフスロープ：
　フロント、センター、リア：−6/−12/−18 dB/oct.
　サブウーファー：.....0/−6/−12/−18 dB/oct.
サブウーファー位相：.....ノーマル/リバース
タイムアライメント：.....0 cm～350 cm（2.5cm/step）
デコーダー：.....リニアPCM、ドルビーデジタル、MPEG-2 AAC

外部入出力

映像入出力レベル（リアモニターOUT）：1.0 Vpp ± 10 %（signal：White 100 %）
外部音声最大入力レベル（AUX）：1.0 Vrms以下

DVD プレーヤー部

リージョンNo.：.....2
対応メディア：.....DVD（VIDEO MODE、VR MODE）、DVD-R（DL）、DVD-RW、CD-ROM、CD-DA、CD-R/RW
デコーディングフォーマット：
　MP3：.....MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3
　WMA：.....Ver.7,8,9（2 ch audio）
　AAC：.....MPEG-4 AAC（Ver.10.01.22 以前のiTunesでエンコードされたもののみ）

周波数特性：
（DVD値）：.....16 Hz ～ 22 000 Hz（±1 dB）
（CD値）：.....20 Hz～20 000 Hz（+0.1 dB/ −1.0 dB）
S/N：
（DVD値）：.....100 dB（1 kHz）（IHF-Aネットワーク）
（CD値）：.....100 dB（1 kHz）（IHF-Aネットワーク）
ダイナミックレンジ：
（DVD値）：.....94 dB（1 kHz）
（CD値）：.....94 dB（1 kHz）
高調波歪率：.....0.007 %（1 kHz）

FM チューナー部

受信周波数帯域：.....76.0 MHz ～ 99.0 MHz
音声：.....ステレオ

AM チューナー部

受信周波数帯域：.....522 kHz ～1 629 kHz（9 kHz）
音声：.....モノラル

地上デジタルTV チューナー部

放送方式：.....地上デジタル放送方式
受信チャンネル：.....470 MHz ～ 710 MHz（UHF13 ch ～ 52 ch）

モニター部

画面サイズ：.....8 V 型ワイドVGA <AVIC-RLS901シリーズ>
7 V 型ワイドVGA <AVIC-RWS901/RZS901シリーズ>
画素数：.....1 152 000 画素［水平800 ×垂直480 × 3（RGB）］
方式：.....TFT アクティブマトリクス方式
バックライト：.....LED 光源

SDカード部

フォーマット：.....Ver.3.0
最大メモリ容量：.....128 GB（SDXC使用時）
ファイルシステム：.....FAT16/FAT32/exFAT（SDXC使用時）
デコーディングフォーマット：
MP3：.....MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3
WMA：.....Ver.7,8,9（2 ch audio）
AAC：.....MPEG-4 AAC（Ver.10.01.22以前のiTunesでエンコードされたもののみ）
MPEG4（MP4）：...MPEG-4 Video + AAC、H.264/AVC + AAC
AVI：.....MPEG-4 Video + MP3 、MPEG-4 Video + AC3
WMV：.....WMV（VC-1）+ WMA
シグナルフォーマット：
WAV：.....LPCM

USB部

対応メディア：.....USB2.0 High Speed
最大電流：.....1 A
最大メモリ容量：.....16 GB
ファイルシステム：.....FAT16/FAT32
デコーディングフォーマット：
MP3：.....MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3
WMA：.....Ver.7,8,9（2 ch audio）
AAC：.....MPEG-4 AAC（Ver.10.01.22 以前のiTunesでエンコードされたもののみ）
シグナルフォーマット：
WAV：.....LPCM
USB CLASS：.....MSC（MASS STORAGE CLASS）

Bluetooth部

Bluetoothバージョン：...Bluetooth3.0+EDR
出力：.....最大+4 dBm（Power class2）

外形寸法

本体取付寸法：.....200（W）mm × 125.4（H）mm × 164（D）mm <AVIC-RLS901シリーズ>
.....205.5（W）mm × 104（H）mm × 160（D）mm <AVIC-RWS901シリーズ>
.....178（W）mm × 100（H）mm × 164（D）mm <AVIC-RZS901シリーズ>
本体ノーズ寸法：.....189.9（W）mm × 120.7（H）mm × 14.1（D）mm <AVIC-RLS901シリーズ>
.....196.8（W）mm × 96.4（H）mm × 18.5（D）mm <AVIC-RWS901シリーズ>
.....170.4（W）mm × 96.3（H）mm × 18.1（D）mm <AVIC-RZS901シリーズ>

質量

本体：.....2.3 kg <AVIC-RLS901シリーズ>
2.2 kg <AVIC-RWS901シリーズ>
2.1 kg <AVIC-RZS901シリーズ>

付属品

取扱説明書：..... 1
保証書：..... 1
地図更新用SDカード申込ハガキ：..... 1
個人情報保護シール：..... 1
シリアルNo.ラベル：..... 1

メモ

- 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

■第１章　総則

（約款の適用）
第１条
一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。
（約款の変更）
第２条
当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。
（用語の定義）
第3条
この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

■第２章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）
第4条
VICS サービスには、次の種類があります。
（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス
（VICSサービスの提供時間）
第5条
当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

■第３章　契約

（契約の単位）
第6条
当センターは、VICSデスクランブラー１台毎に１のVICSサービス契約を締結します。
（サービスの提供区域）
第7条
VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。
（契約の成立等）
第8条
VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICSサービスの種類の変更）
第9条
加入者は、VICSサービスの種類に対応した VICS対応FM受信機を購入することにより、第4 条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条
加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第11条
当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第12条
1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

■第４章　料金

（料金の支払い義務）
第13条
加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

■第５章　保守

（当センターの保守管理責任）
第14条
当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第15条
1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

■第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第16条
加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第17条

1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

■別表　視聴料金

視聴料金：300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

付録

Gracenote®について

■概要

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

■特許及び商標

Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ:copyright ©2000 to present Gracenote. Gracenote Software, copyright ©2000 to present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenoteの登録商標または商標です。

■Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

Ja EULA 8-10-2009

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（ 以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウエアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（ 以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（ 以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース（ 以下、総称して「Gracenote サーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、またはGracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利をGracenoteとし

て直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、GracenoteのサービスにかんするGracenoteプライバシー ポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

■Gracenoteデータについて

- 本機内蔵Gracenoteデータ、専用サーバーのGracenoteデータともに、データの内容を100%保証するものではありません。
- 専用サーバーのGracenoteデータは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- 専用サーバーによるGracenoteデータの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なくその提供を中止することがあります。

商標・著作権など

- 電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。

  〒 T D13-0042001
  R 007-AB0030

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国および／またはその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国Microsoft Corporationが所有する技術を使用しています。また、米国Microsoft Licensing Inc.の許可を得ずに使用または頒布できません。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IntelおよびPentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- MP3とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページhttp://www.mp3licensing.comをご覧ください。*営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。
- iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch、およびLightningは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。 iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Made for
iPhone | iPod

- Made for Appleマークの使用に関して、バッジ内に記してあるアップル製品に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。Made for Appleマークの使用に関して、バッジ内に記してあるアップル製品に接続するよう設計さ

れ、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

- Android、Google PlayはGoogle Inc.の商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- *Bluetooth*®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。
- はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 「マップクリップ」はインクリメントP（株）の登録商標です。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、別途規定されている場合を除いて、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- Entier（エンティア）は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。

1 最終需要家は、特定の1台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。
2 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であると無償であるとを問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。
3 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アセンブル若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとします。
4 最終需要家は、第1項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。
5 最終需要家が添付ソフト複製物の全部若しくは一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米国輸出管理規則等外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続きをとるものとします。
(1)輸出するとき。
(2)海外へ持ち出すとき。
(3)非居住者へ提供し、又は使用させるとき。
(4)前3号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

注1： 上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第5条第3項及び第4項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込用ランタイム」に、第6条第2項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとします。

注2： 第6条第1項第3号又は同条第2項第2号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとします。

- 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- お客様が録音（録画）したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用頂けません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- **bsdiff**

Copyright 2003-2005 Colin Percival
All rights reserved
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted providing that the following conditions are met:
1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- **FreeType**

Portions of the software in this product are copyright 1996 - 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (http://git.savannah.gnu.org/cgit/freetype/freetype2.git/plain/docs/FTL.TXT)

- **giflib**

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO

THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- **libjpeg**

  This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- **libmng**

  COPYRIGHT NOTICE:
  Copyright (c) 2000-2007 Gerard Juyn (gerard@libmng.com)
  For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:
  Gerard Juyn
  Glenn Randers-Pehrson
  The MNG Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the MNG Library, even if advised of the possibility of such damage.
  Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:
  1 The origin of this source code must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software.
  2 Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
  3 This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.
  The Contributing Authors specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the MNG and JNG file format in commercial products.
  If you use this source code in a product, acknowledgment would be highly appreciated.
  Parts of this software have been adapted from the libpng package. Although this library supports all features from the PNG specification (as MNG descends from it) it does not require the libpng package. It does require the zlib library and optionally the IJG jpeg library, and/or the "little-cms" library by Marti Maria (depending on the inclusion of support for JNG and Full-Color-Management respectively.
  This library's function is primarily to read and display MNG animations. It is not meant as a full-featured image-editing component! It does however offer creation and editing functionality at the chunk level. (future modifications may include some more support for creation and or editing)

- **libpng**

  This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.
  COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:
  If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.
  This code is released under the libpng license.
  libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.41, December 3, 2009, are
  Copyright (c) 2004, 2006-2009 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors
  Cosmin Truta
  libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are
  Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors
  Simon-Pierre Cadieux
  Eric S. Raymond
  Gilles Vollant
  and with the following additions to the disclaimer:
  There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.
  libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are
  Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:
  Tom Lane
  Glenn Randers-Pehrson
  Willem van Schaik
  libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are
  Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger
  Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:
  John Bowler
  Kevin Bracey
  Sam Bushell
  Magnus Holmgren
  Greg Roelofs
  Tom Tanner
  libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are
  Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.
  For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:
  Andreas Dilger
  Dave Martindale
  Guy Eric Schalnat
  Paul Schmidt
  Tim Wegner
  The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.
  Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:
  1 The origin of this source code must not be misrepresented.
  2 Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
  3 This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.
  The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about"boxes and the like: printf("%s",png_get_copyright(NULL));
Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).
Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.
Glenn Randers-Pehrson glennrp at users.sourceforge.net December 3, 2009

- **libxml2**

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:
Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is fur-nished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CON-NECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other deal-ings in this Software without prior written authorization from him.
hash.c: chained hash tables
Reference: Your favorite introductory book on algorithms
Copyright (C) 2000 Bjorn Reese and Daniel Veillard.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.
Author: breese@users.sourceforge.net
list.c: lists handling implementation
Copyright (C) 2000 Gary Pennington and Daniel Veillard.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.
Author: Gary.Pennington@uk.sun.com
trio files
Copyright (C) 1998 Bjorn Reese and Daniel Stenberg.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

- **MD5**

Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.
License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.
RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

- **OpenGLES2.0、EGL1.4**

Copyright (C) Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved, Licensed under SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008 , http://oss.sgi.com/projects/FreeB/)

- **PowerVR**

This product includes components of the PowerVR™ SDK from Imagination Technologies Limited

- **protobuf**

Copyright 2008, Google Inc.
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Google Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
Code generated by the Protocol Buffer compiler is owned by the owner of the input file used when

generating it. This code is not standalone and requires a support library to be linked with it. This support library is itself covered by the above license.

- **rapidjson**

Copyright (C) 2011 Milo Yip
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- **SEE: Simple ECMAScript Engine**

The SEE library source is released under what is commonly called a "BSD-style" licence:
Copyright (c) 2003, 2004, 2005, 2006, 2007 David Leonard. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3 Neither the name of David Leonard nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
The separate 'dtoa.c' file is separately licenced, thus:
The author of this software is David M. Gay.
Copyright (c) 1991, 2000 by Lucent Technologies.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.
THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

- **speex**

Copyright 2002-2008 Xiph.org Foundation
Copyright 2002-2008 Jean-Marc Valin
Copyright 2005-2007 Analog Devices Inc.
Copyright 2005-2008 Commonwealth Scientific and Industrial Research Organisation (CSIRO)
Copyright 1993, 2002, 2006 David Rowe
Copyright 2003 EpicGames
Copyright 1992-1994 Jutta Degener, Carsten Bormann
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

五十音順

あ
アイドリングアッテネーター 49
アフターサービス 13

い
一時停止表示 42
インジケーター 33

う
ウェザーライブ 31

え
映像出力 46
エコステータス 31

お
オーディオ設定 49
オートサイレントガイド 44
オートリルート 40
音楽 CD 45
音楽ファイル 42,50
音声案内 ..... ユーザーズガイド「ナビゲーション基本操作 - 走行中の音声案内」
音場 49
音量 26

か
ガススタ価格情報 30
カスタム機能 26
冠水注意地点マーク 42

き
気象情報 31
機能設定 31

く
グラフィックイコライザー 49

け
携帯電話 22
携帯電話メニュー 32
検索履歴 ..... ユーザーズガイド「検索 - 登録地・検索履歴から探す」

こ
交差点案内表示 43
交通情報 45
工場出荷時（状態） ..... ユーザーズガイド「設定 - 設定初期化」

さ
再探索 30
サイレントガイド 40

し
渋滞オートガイド 41,44
渋滞情報 31,41,52
受話音量 32,55
消音タイミング 32
消音レベル 32
情報メニュー 31
初期登録 52
新ルート 40

す
スキャン 21
スケール 36
ステアリングオーディオスイッチ 18
スピーカー出力設定 49
スマートループ 52

せ
セキュリティロック 13
接続状態 57
設定初期化 21
設定・編集メニュー 31
セレクトビューバックアイカメラ 14
セントラルメニュー 30
全方位モニター 14
専用サーバー 52

そ
操作音 26
ソース別設定 31,46
ソースレベルアジャスター 49
ゾーン 30 43

た
タイトル情報 48
タイムアライメント 49
ダイレクトスケールキー 36

ち
地図更新 63
地図データ 11
チャンネルスキャン 21
駐車場満空情報 30
駐車場履歴 31

つ
通信接続設定 ..... ユーザーズガイド「設定 - 通信接続設定」

て
デバイスナンバー ..... ユーザーズガイド「情報 - デバイスナンバーを確認する」
テレビ 21

と
ドライバーズビュー 37
ドライブプラン 31,60
ドライブレコーダー 14,31,45,56
ドライブレコーダーリンク 56

な
ナビスタジオ 58
ナビスタンバイ 17

に
ニックネーム 61

ね
燃費推定 31

の
ノースアップ 37

は
バージョン情報 31
ハイウェイモード 37
パスワード 11,13,61
バックアイカメラ 14
発着信履歴 32,55
早送り 45
早戻し 45
ハンズフリー通話 55

ふ
フェーダー／バランス 49
フォーマット 12
プレイリスト 19,51
フロントサイドビューカメラ 14

へ
ヘッドアップディスプレイ 14
別道路 ..... ユーザーズガイド
「調整･補正 - 一般道または有料道へ自車位置を修正する」

ほ
ポップアップメニュー 33

ま
マップクリップ 31,32
マップチャージ 63

み
ミュージックサーバー 48

め
メモリダイヤル 32,55

も
元ルート 40

ら
ラジオ 30,45

り
リアモニター 14
リスニングポジション 49
履歴情報 13

る
ルートアドバイザー 40,43
ルート情報 31
ルート編集 31
ルートを消去 41

ろ
録音 48
ロゴマーク 42

アルファベット順

A
AUX 31,45
AVCHD 81
AVCREC 81
AV サイドビューアングル 42
AV ソース 45
AV メニュー 30

B
Bluetooth 52
Bluetooth Audio 30,45

C
CD 30,45

D
DRM 50
DualDisc 81
DVD-VR 81
DVD ビデオ 81

E
ETC2.0 ユニット 14
ETC カード ..... ユーザーズガイド
「その他の機器 -ETC サービスの利用」
ETC ユニット 14
ETC 利用履歴 31

G
Gracenote 音楽認識サービス 48

I
iPhone 11,14
iPod 11,14

M
m3u 51
MSV（ミュージックサーバー） 30,45

N
NAVI メニュー 30
NTSC 81

S
SD カード登録確認メッセージ 59
SD の初期設定 ..... ユーザーズガイド
「メモリーメディア -SD の初期設定を行う」

U
USB 31,45,81
USB 接続ケーブル 47,82
USB ソケット 47
USB メモリー 31,45,47,81

V
VICS 情報 31,85
VICS 放送局選択 ..... ユーザーズガイド
「情報 - 放送局を選ぶ」

W
Windows Media Player 51

記号・マーク一覧

地図関連

- 高速・有料道
- 国道
- 主要地方道
- 都道府県道
- 一般道
- 細街路
- 鉄道
- 県境
- 国道番号
- 県道番号
- 有料道道路番号
- 一方通行
- 海・川・湖沼
- 公園・緑地・芝生など
- 施設敷地
- 施設
- 駅舎
- ゾーン30エリア
- 緊急情報
- 拡張事象規制
- インターチェンジ/ランプ名
- 交差点名
- ランプ入口
- ランプ出口
- 信号機
- 指示点
- 山岳
- 公園
- 工場
- トンネル出入口
- マンション
- SA サービスエリア
- PA パーキングエリア
- IC インターチェンジ
- 料金所・スマートICゲート
- P 駐車場
- ボトルネック踏切
- 開かずの踏切
- 冠水注意地点
- 一時停止
- 道の駅
- 空港
- ヘリポート
- フェリー乗り場
- 観光船乗り場
- タワー
- 灯台
- 墓地
- 公共施設
- 警察署
- 消防署
- 病院
- 郵便局
- NTT
- 高校
- 小学校
- 中学校
- 大学
- 高専
- 自動車関連施設
- 温泉
- 遊園地・その他
- 乗馬クラブ
- キャンプ場
- ボウリング場
- スポーツ施設
- ゴルフ場
- その他スポーツ施設
- 野球場・スタジアム
- 体育館
- スキー場
- 海水浴場
- ヨットハーバー
- モータースポーツ
- テニスコート
- 美術館、博物館
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ホール・劇場
- 神社
- 寺
- 教会
- 城
- 牧場
- 競馬場
- デパート
- DIYショップ
- ホテル

駐車場マップ

- EV エレベータ
- ¥ 料金所
- 入 入り口
- 出 出口
- トイレ
- 上 上り
- 下 下り
- 柱

検索・ルート関連

- 有料道路施設の誘導ポイント
- 目的地
- 立寄地
- S 出発地
- 案内地
- 案内中ルート（有料道）
- 案内中ルート（一般道）
- 案内中ルート（細街路）

駐車場入口案内ポイント

- APM オートパーキングメモリー
- 地図収録案内ポイント
- プローブ案内ポイント
- ダウンロードした案内ポイント

渋滞情報関連

VICS渋滞情報（現況）

一般道	有料道
渋滞	渋滞
混雑	混雑
順調	順調

VICS渋滞情報（統計）

一般道	有料道
渋滞	渋滞
混雑	混雑
順調	順調

スマートループ渋滞情報

一般道	有料道
渋滞	渋滞
混雑	混雑
順調	順調

規制・原因情報

- 規制区間
- 入口閉鎖・通行止
- 50 速度規制
- 進入禁止
- 通行止め・閉鎖
- 大型通行止め
- 対面通行
- 片側交互通行
- 徐行
- 車線規制
- チェーン規制
- 故障車
- 凍結
- 工事
- 作業
- 事故
- 障害物・路上障害
- 入口制限
- 入口閉鎖
- 気象
- 行事 行事
- 災害
- 火災
- V 原因/事象なし
- 気象速報 災害速報 気象・災害速報

その他

- P 駐車場（空車）※
- P 駐車場（混雑）※
- P 駐車場（満車）※
- P 駐車場（閉鎖）※
- P 駐車場（不明）※
- 充電スポット（空きあり）
- 充電スポット（混雑）
- 充電スポット（空きなし）
- 充電スポット（閉鎖）
- 充電スポット（不明）
- 区間旅行時間
- 特別警報 特別警報（緊急情報）

※:右側は臨時駐車場

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>
「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。
携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

カスタマーサポートセンター

■電話　《カーオーディオ／カーナビゲーション商品》

受付時間　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

【固定電話から】 **0120-944-111**(無料)　【携帯電話・PHSから】**0570-037-600**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7540(IP電話・有料)

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております。

《バージョンアップ、ダウンロード、ナビスタジオ操作相談》

受付時間　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

【固定電話から】 **0120-702-383**(無料)　【携帯電話・PHSから】**0570-037-601**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7541(IP電話・有料)

■ファックス **0570-037-602**（ナビダイヤル・有料）

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.05

パイオニア株式会社
〒113-0021
東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社2018
< KFWZ18E > < CRA5197-A >